

## 圖 画 工 作 ・ 美 術

## 目 次

○ 指導計画作製の立場 .....	407
○ 題材一覧表 .....	409
○ 指導計画	
・ 小学部 .....	410
・ 中学部 .....	438
・ 高等部 .....	446

## 1 指導計画作成の立場

### (1) 基本的な考え方

一般に、目的的に行動することに乏しいと言われる精神発達遅滞児にとって、造形的な表現活動を体感していく過程で具体的に物にかかわり、自分なりの取り組みの結果として何らかの作品が出来上がるという経験は、自己の能力を再確認させたり、自己を表現するより多くのスキルを獲得させたりすることにつながる。それと同時に、児童生徒の本来持つ表現欲求を満足させ、自己実現を図りながら表現することの喜びや楽しさを味わわせる場ともなる。さらに、これらの結果として、新たなものを受け入れ、創造的な活動を引き出し、外界への主体的なかわりを豊かにしていくことに結び付いていくものとする。また、造形活動は、自らが生み出した線や色、形、あるいは外界の事物・事象を知覚しイメージとして受け止めたり、自分のイメージしたものを手指等を使って表現したりするという過程であり、イメージを操作するという抽象的な操作を含んだ視覚的思考を育てる場ともなる。

本校の児童生徒は、休み時間に既存の遊具で遊んだり、絵を描くなどの造形的な遊びを行ったりはしているものの、活動を十分に楽しみ、自ら進んで新たな造形表現活動を展開していくことは少ない。また、手を十分に働かせて物を作ったり、目的や用途に合わせて創意工夫して活動したりする姿もあまり見られない。

そこで本校の図画工作・美術では、まず、児童生徒が進んで活動を楽しみ、表現する喜びを味わえるようにしていきたい。そして、それらの活動の中で、様々な素材や用具に慣れ親しめるとともに、色や形などの造形感覚や能力、造形的な操作をするための技能を育てながら、児童生徒の持つイメージをより豊かなものとし、それらを表現していくための創造的な能力を育てるようにしていきたい。

具体的には、児童生徒の造形活動の発達段階や特性に応じ、造形遊びや興味・関心のある表現活動を設定するとともに、児童生徒の表現したい内容を豊かにし、体全体で感じ取らせ表現させたり、主体的な表現を引き出したりする。また、製作の過程においては、一人一人の表現方法に応じた指導を行い、その思いを共有したり、膨らませたりしていくようにし、表現する楽しさや喜びを味わわせていくようにする。さらに、様々な材料や用具に触れさせながら、多様な表現の方法を経験させ、自分の思いをより豊かに表現できるようにしていく。これらの考え方を基本としながら、各学部では次のような指導を考えていきたい。

小学部の児童は、主体的な外界への働き掛けが弱く、自ら物を扱ったり、素材に親しみ、探索したりなどすることがあまり見られず、目と手の協応、手指の機能の成熟などに課題も見られることがある。また、なぐりがきと意味付けを繰り返し、イメージを豊かにしながら表現へ向かう段階でもある。そこで、楽しみながら行える造形遊びを取り入れ、様々な材料に友達や教師と一緒に触れ合い、周りの物に積極的に働き掛け、形を変化させるという造形体験を豊富に持たせていきたい。さらに児童の表現活動の過程を大切に、様々な形が生み出されるような工夫をするとともに、表現の内容を共有し、共に意味付けしていくようにしたい。

中学部の生徒は、自分のつくったものに記号としての意味を持たせ、それらを並べて話をしたり、自分の知っていること、経験したことをかいたりする。さらに、物と物との関係を把握し、空間を意識して構成するようになる。そこで、教師や友達に伝えたいような豊かな体験をさせ、表現意欲を高めるようにしていきたい。また、様々な素材を与え、いろいろな表

現方法を経験させていくこととともに、色や形、それらのまとまりなどへの興味・関心を持たせるようにしていきたい。

高等部の生徒は、自分の表現したいものと表現しようとしているものとの矛盾が少なくなるように工夫を重ねるようになる。対象をよく見て表現しようとしたり、自分のイメージした作品に作り上げるために様々な方法を駆使したりするようになる。そこで、この段階においては、物のいろいろな部分の形に注目させたり、友達との共同の作品づくりを取り入れたり、身近な作品への関心も持たせたりして、いろいろな表現の方法があることに気付かせるようにしていきたい。

## (2) 目 標

- 初歩的な造形活動を通して、身近な材料や用具に進んで触れたり、自分なりの方法で造形活動したりできるようにするとともに、造形表現することへの興味・関心を持たせ、表現の喜びを味わわせる。
- 造形活動を通して、身近な材料や用具を工夫して自分の表わしたいものをかいたり、つくったりできるようにし、表現の喜びを味わわせるとともに、身近な造形作品のよさや美しさに気付かせ、豊かな情操を養う。
- 造形活動を通して、自分の表わしたいものを創造的に表現できるようにし、表現の喜びを味わわせるとともに、身近な造形作品のよさや美しさに関心を持って見ることができるようにし、豊かな情操を養う。

## (3) 指導計画作成上の配慮事項

- ① 題材については、児童生徒の造形活動の発達段階や生活と結び付いた興味・関心のある題材を考慮して設定する。
- ② 各題材においては、一人一人の児童生徒の表現方法が十分に生かされるように、活動内容を柔軟に対応させられるようにする。
- ③ 絵画的内容、工作的内容をバランスよく配列するとともに、適宜共同製作を取り上げ、友達との共同による創造体験をさせるようにする。
- ④ 目標や活動内容は、学習指導要領解説に示されている具体的内容を基に、児童生徒の実態に応じて、小学部1～3、中学部4、高等部5のそれぞれの段階を基準として設定する。
- ⑤ 授業時数は、週2時間で年間35週として算定し、児童生徒の実態に応じて各題材に柔軟に配当できるようにする。

## 2 活用上の留意点

- (1) 題材名は、大まかなまとまりを持ったものとして設定してある。活用にあたっては、児童生徒の実態に応じた表記で提示する。
- (2) 題材によっては、表現技法や材料用具に柔軟性を持たせ、児童生徒の表現方法に応じて活動ができるように表記されたものがある。指導にあたっては、児童生徒の経験や造形活動の発達段階に応じて適宜選択して取り扱うようにする。
- (3) 学習の内容や目標は学部・学年を考慮し段階別に設定してあるが、児童生徒に応じた活動を期するために関連内容を参考に内容を発展的に取り扱っていくようにする。



図画工作・美術科題材一覧表

月	小学部低学年			小学部中学年			小学部高学年			中学部			高等部		
	題材名	内容	ページ	題材名	内容	ページ	題材名	内容	ページ	題材名	内容	ページ	題材名	内容	ページ
4	砂で遊ぼう	1	410	先生や友達をかこう	2	419	先生や友達をかこう	2	429	見てかこう	2	438	顔をつくろう	2	446
	こいのぼりをつくろう	3	410	こいのぼりをつくろう	3	419	こいのぼりをつくろう	3	429	こいのぼりをつくろう	3	438			
5	動物をかこう	2	411	動物をかこう	2	420	動物をかこう	2	430	動物をかこう	2	439	風景をかこう	2	446
6	粘土で遊ぼうⅠ	1	411	粘土でだんごをつくって遊ぼう	2	420	粘土で動物をつくろう	2	430	くるまをつくろう	3	439	使うものをつくろう	3	447
	色紙で遊ぼう	1	412	色紙で飾りをつくろう	3	421	色紙で飾りをつくろう	3	431	いかだをつくろう	1	440			
7	からだにぬろう	1	412	花火をかこう	2	421	船をつくろう	3	431	七夕飾りをつくろう	3	440			
9	並べて遊ぼう	1	413	夏休みの思い出をかこう	2	422	夏休みの思い出をかこう	2	432	ポスターをかこう	3	441	ポスターをつくろう	3	447
	旗をつくろう	3	413	旗をつくろう	3	422	旗をつくろう	3	432	こんな仕事をしてみたい	2	441	運動する人をつくろう	1	448
				運動会をかこう	2	423	運動会をかこう	2	433						
10	箱で遊ぼう	1	414	箱で遊ぼう	1	423	箱で遊ぼう	1	433	お面をつくろう	3	442	動くおもちゃをつくろう	3	448
	粘土で遊ぼうⅡ	1	414	粘土で果物をつくろう	2	424	紙粘土でつくろう	2	434	ポスターをかこう	3	442			
11	飾って遊ぼう (みこし・お店づくり)	3	415	つくって飾ろう (みこし・お店づくり)	3	424	みんなでつくって飾ろう (みこし・お店づくり)	3	434	カレンダーをつくろう	3	443	仕事をする人をかこう	2	449
12	あわせ絵をしよう	1	415	うつし絵をしよう	1	425	版画をしよう	2	435	クリスマスのかざりをつくろう	3	443			
	ボンボン押そう	1	416	スタンプをつくろう	1	425									
1	つくって遊ぼう	3	416	つくって遊ぼう	3	426	つくって遊ぼう	3	435	たこをつくろう	3	444	飛ばして遊ぼう	3	449
	鬼の面をつくろう	3	417	鬼の面をつくろう	3	426	鬼の面をつくろう	3	436	人形をつくろう	2	444	記念品をつくろう	3	450
2	積み木を並べよう	1	417	いろいろな材料でつくろう	1	427	いろいろな材料でつくろう	1	436						
	ひな人形をつくろう	3	418	ひな人形をつくろう	3	427	ひな人形をつくろう	3	437	プレゼントをつくろう	3	445			
3	プレゼントをつくろう	3	418	プレゼントをつくろう	3	428	プレゼントをつくろう	3	437	記念品をつくろう	3	445			

※ 「内容」の数字は、1（材料を基にした造形遊び）、2（見たこと、感じたこと、想像したことを絵や立体に表現する活動）、3（生活を楽しむものや飾るもの、伝え合うものをつくる活動）を示す。

小学部 低学年

題 材	砂 で 遊 ぼ う	月 (時数)	4 月 (2 時間)
目 標	○ 砂で山をつくったり、穴を掘ったりして体全体を使って遊ぶ楽しさを味わわせる。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 砂遊びについて話を聞く。  2 砂で自由に遊ぶ。 (1) 砂で山をつくったり、穴を掘ったり、型抜きをしたりする。  (2) 砂に水を掛けて混ぜ、泥んこ遊びをする。  3 後始末をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 砂を口に入れたり、目に入ったりしないように安全には十分注意する。</li> <li>・ 汚れてもよい服を着せ、素足で砂場に入らせるようにする。</li> <li>・ 手足を直接砂に触れさせて砂の感触を十分に味わわせたり、遊具等を豊富に準備して楽しく活動させたりする。</li> <li>・ 自由に手足に塗り付けたり、おだんごをつくったりして遊ぶ。</li> <li>・ 自分で使った道具などの後始末をさせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スコップ</li> <li>・ バケツ</li> <li>・ じょうろ</li> <li>・ コップ</li> <li>・ プリンなどの空容器</li> <li>・ 車など</li> </ul>	道 2-(3) 図 1-1, 3   図 1-2   生・手 1-2

題 材	こいのぼりをつくろう	月 (時数)	4 月 (2 時間)
目 標	○ 自由に模様をいかたり、手形を押してうろこをつくったりして、こいのぼりをつくることができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 「こいのぼり」の歌を歌う。  2 こいのぼりをつくる。 (1) 本体にパスなどで自由にかいたり塗ったりする。  (2) うろこの型紙に手形押しをして、本体にはる。  (3) 目玉やひれをはる。  3 作品を見たり、揚げたりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ こいのぼりを見せたり、歌を歌わせたりすることにより、こいのぼりのイメージを持たせる。</li> <li>・ こいのぼりの本体は、あらかじめ、ビニール袋などでつくっておく。</li> <li>・ 子供たちの自由な造形意欲を認めるようにし、技能的な面の指導が前面に出過ぎないようにする。</li> <li>・ 絵の具の付いた手を口に入れないように、安全には十分注意する。</li> <li>・ 目玉はつくっておき、みんなで位置を確認しながら本体にはらせる。</li> <li>・ できあがったこいのぼりを飾ることにより、作り上げた喜びを味わわせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ こいのぼり</li> <li>・ こいのぼり(本体)</li> <li>・ 画用紙</li> <li>・ パス</li> <li>・ 絵の具</li> <li>・ セロハンテープ</li> </ul>	図 1-5   図 1-6 2-11  図 1-11, 12  図 1-15 道 1-(2)

題 材	動物をかこう（スケッチ大会）	月（時数）	5 月（6 時間）
目 標	○ 動物を見ながら、画面いっぱいに伸び伸びと表現することができるようにする。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 いろいろな動物を見る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に動物を見たり、触れたり、えさをあげたりなどして、動物を身近に感じさせ、製作への意欲を持たせるようにする。</li> <li>「大きいね」「おもしろい鼻だね」など、子供の感動を言葉に表すことで動物の特徴に目を向けさせるようにする。</li> <li>画用紙いっぱいにかくように言葉掛けをするが、指示的になって表現意欲を失わせないようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>画用紙</li> <li>クレヨン</li> <li>油性ペン</li> </ul>	生・自 1-5
2 好きな動物をかく。 (1) かきたい動物を決める。 (2) 動物をかく。 (3) 色を塗る。			図 1-5
3 出来上がった作品を見る。			図 1-15

題 材	粘土で遊ぼう I	月（時数）	6 月（4 時間）
目 標	○ こねたり、のぼしたり、ちぎったりする活動を通して、粘土に慣れさせるとともに、粘土で遊ぶ楽しさを味わわせる。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 粘土遊びについて話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>指の力の弱い子供には、あらかじめ粘土を柔らかくして与える。また、粘土を口に入れる子供たちには、小麦粉粘土を準備するなどして、安全面・衛生面に気を付けるようにする。</li> <li>粘土をたくさん準備し、子供たちが十分に粘土に触れられるようにする。</li> <li>教師も一緒に、のぼしたり、ちぎったりすることによって、子供たちと活動を楽しむようにする。</li> <li>偶然にできた形に対する子供たちの発想を大切にしながら、ほめたり、認めたりしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>油粘土</li> <li>小麦粉粘土</li> <li>粘土板</li> </ul>	図 1-4
2 粘土遊びをする。 ○ こねる ○ のぼす ○ ちぎる など			
3 後始末をする。			道 4-(1)

題 材	色 紙 で 遊 ぼう	月 (時数)	6 月 (4 時間)
目 標	○ 色紙をちぎったり、丸めたり、長くつないだりして、色紙で楽しく活動することができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 色紙で遊ぶことについて話を聞く。	・ 幾つかちぎったり、のり付けしたりしてみせて活動に意欲を持たせる。		図 1-19 図 1-12, 14
2 色紙を使って遊ぶ。 ○ 色紙を自由にちぎったり、丸めたりする。  ○ 色紙をのり付けする。	・ いろいろな色や模様の色紙を準備し、大きくちぎったり、細かくちぎったり、好きなように丸めたりと、自由に活動させるようにする。 ・ 星やすいかの形をした台紙にのり付けさせたり、色紙を次々とのり付けして、長くつながせたりする。	・ 色紙  ・ 画用紙 ・ のり ・ 手ふき	
3 ささに飾る。	・ 出来上がったものに、教師の方でモールを付けて、子供と一緒にささに飾らせ、「七夕」の歌を歌う。	・ モール ・ ささ	図 1-15 道 1-(2) 音 1-18
4 「七夕」の歌を歌う。			

題 材	か ら だ に め ろ う	月 (時数)	7 月 (2 時間)
目 標	○ 絵の具の感触を楽しませながら、自分や教師、友達に絵の具を塗って遊ぶ楽しさを味わわせる。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 体に絵の具を塗ることについて話を聞く。 ・ いろいろな色の絵の具	・ あらかじめ、教師も子供も水着に着替えておく。 ・ 絵の具が目や口に入らないように注意させるとともに、小麦粉粘土に食紅を溶かしたものを準備するなどして安全面・衛生面には十分留意する。	・ 水着 ・ 水性絵の具 ・ 小麦粉 ・ 食紅 ・ スポンジ	図 1-1, 5
2 体にぬる。 (1) 自分の体に塗る。 (2) 教師や友達に塗る。	・ 教師が塗って見せたり、その感触を楽しむ様子を見せたりして、活動への興味を持たせる。	・ ローラー ・ タオル	
3 教師や友達の様子を見る。	・ 塗る活動は、子供の状態に応じて行い無理のないようにする。		図 1-15
4 後始末をする。	・ スポンジやローラーなども使って活動させてもよい。		道 4-(1)

題 材	並 べ て 遊 ぼ う	月 (時数)	9 月 (4 時間)
目 標	○ いろいろなものを見つけて集めてきて、並べたり重ねたりして遊ぶ楽しさを味わわせる。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 集めたもので遊ぶことについて話を聞く。  2 いろいろなものを集める。  3 集めたもので遊ぶ。 ○ 並べる。 ・ 同じ形や色 ・ 直線状や円状 ○ 積み重ねる。  4 後始末をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積み木や、ブロック、おもちゃの皿など、子供たちがふだん触れていて、よく知っているものを使って遊んでみせて、活動への興味・関心を持たせる。</li> <li>・ 教室やプレイルームなど、身近な場所で、それぞれ好きな物を集めさせる。</li> <li>・ 集めたもので自由に活動させる。その際に、同じ形や色ごとに分けて並べることや、いろいろな並べ方があることに気付くように、教師も一緒になって遊ぶ。</li> <li>・ 口に入れたり、投げたりしないように衛生面、安全面には十分配慮する。</li> <li>・ もとの場所に片付けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積み木</li> <li>・ ブロック</li> <li>・ おもちゃなど</li> </ul>	図 1-8, 10          図 1-13          生・遊 1-8 道 1-(1)

題 材	旗 を つ く ろ う	月 (時数)	9 月 (4 時間)
目 標	○ 自由に色を塗って旗をつくったり、飾ったりすることができるようにする。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 いろいろな旗を見る。 ・ 万国旗 ・ 参考作品  2 旗に色を塗る。 ○ クレヨンや絵の具で自由にかく。 ○ 手形を押す、指でかく。 ○ いろいろな用具を使ってかく。                      など  3 飾り付けをする。 (1) ひもに付ける。 (2) 飾る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 万国旗を見たり、それを教室に飾ったりして旗について知らせるようにする。</li> <li>・ いろいろな形や色の旗の参考作品を見せ、運動会の会場に飾ることを知らせ、製作意欲を喚起する。</li> <li>・ 旗の形は、教師があらかじめ三角形や四角形に切って準備する。</li> <li>・ 好きな色で遊びながら色を塗ったり、模様を付けたりなどさせる。</li> <li>・ セロハンテープなどで簡単にひもに付けられるようにしておき、必要に応じて補強する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 万国旗</li> <li>・ 参考作品</li> <li>・ 旗の台紙</li> <li>・ クレヨン</li> <li>・ 絵の具</li> <li>・ ローラー など</li> <li>・ セロハンテープ</li> </ul>	図 1-1, 5          図 1-15

題 材	箱 で 遊 ぼ う	月 (時数)	10月 (4 時間)
目 標	○ 触れる、並べる、積み上げる、崩すなどしてダンボール箱に親しませ、体全体を使って遊ぶ楽しさを味わわせる。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 ダンボール箱を使った遊びについて話を聞く。  2 ダンボール箱に触れて遊ぶ。 ・ トンネル遊び ・ ゴロゴロ遊び  3 並べたり、積み上げたり、崩したりして遊ぶ。  4 後片付けをする。	・ いろいろな形や、子供がすっぽり入るぐらいの大きなダンボール箱を準備し、活動への興味・関心を持たせる。 ・ たたいたり、触らせたりして感覚的に楽しませたり、キャタピラーにして、中に入ってゴロゴロと全身的な活動をさせたりして、ダンボール箱に親しませる。 ・ 子供にとって、持ちやすい適当な大きさの箱をたくさん準備し、自由に活動させる。 ・ 場合によっては、高く積み上げたり、崩したりなど教師から働き掛け、活動への手掛かりをつくるようにする。	・ ダンボール箱 ・ 菓子箱等	図 1-1   図 1-13   生・遊 1-8 道 1-(1)

題 材	粘土で遊ぼうⅡ	月 (時数)	10月 (4 時間)
目 標	○ たたいたり、丸めたり、くっつけたりする活動を通して、粘土に親しませるとともに、粘土で遊ぶ楽しさを味わわせる。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 粘土遊びについて話を聞く。  2 粘土遊びをする。 ○ たたく ○ 丸める ○ くっつける など  3 後始末をする。	・ 指の力の弱い子供には、あらかじめ粘土を柔らかくして与える。また、粘土を口に入れる子供には、小麦粉粘土を準備するなどして、安全面・衛生面に気を付けるようにする。 ・ 粘土に十分触れさせ、偶然にできた形に対する子供の発想を大切にし、どんなものをつくったか尋ねたり、分からない子供には「○○みたいだね」と言葉掛けしたりする。 ・ 両手で丸めたり、くっつけて形を変えたりなど、教師も一緒につくる活動をすることによって、子供たちに気付かせるようにする。	・ 油粘土 ・ 小麦粉粘土 ・ 粘土板	図 1-4         道 4-(1)

題 材	飾って遊ぼう（みこし・お店作り）	月（時数）	11月（8時間）
目 標	○ 自分の好きな色、形、絵、材料を選んで、はったり、飾ったりして、みこしやお店を作ることができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 飾りたいみこしやお店、飾るものを決める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ VTRで様子を見たり、キャラクターの絵カードを見たり、飾りたいものを選んだりして、みこしやお店を決めさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ VTR</li> <li>・ 絵カード</li> </ul>	
2 はったり、飾ったりして、みこしやお店の飾り付けをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大まかな形は事前に教師が準備する。</li> <li>・ みこしの形や色はあまりこだわらず、自由にみこしにかいたり、かいたものをはったり、いろいろなものを飾ったりさせる。</li> <li>・ 紙以外にも、音の出るもの（鈴、おもちゃなど）や空容器（カップめんや空き缶など）、紙皿、落ち葉といったものを準備しておき、必要な子供が自由に使えるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ みこしの原形</li> <li>・ 色紙</li> <li>・ 色画用紙</li> <li>・ クレヨン</li> <li>・ はさみ</li> <li>・ いろいろな材料</li> <li>・ 接着剤</li> </ul>	図 1-5, 7, 11  生・自 2-1  道 2-(3)
3 出来上がったみこしやお店で遊ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなで楽しく遊ぶとともに、一人一人が飾ったものに目を向けさせる。</li> </ul>		生・遊 2-1

題 材	あわせ絵をしよう	月（時数）	12月（4時間）
目 標	○ 画用紙の上に、絵の具を落とし、流したりして、あわせ絵をつくることができるようにするとともに、出来上がった模様の変化を楽しませる。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 あわせ絵について話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 画用紙の上に、数色の絵の具を落としたり、流したりするとともに、絵の具をしみこませた糸や毛糸をはさませるなど活動のさせ方を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 画用紙</li> <li>・ 絵の具</li> <li>・ 糸(毛糸)</li> <li>・ 筆</li> </ul>	図 1-3 図 2-1
2 あわせ絵をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 画用紙の片面に絵の具を付けるようにもう一方の面を裏に折り返させる。</li> </ul>		
3 出来上がった作品を見る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出来上がった作品を身近なものに例えたり、命名させたりする際は、実際のものとは比べさせたり、身体表現などをさせたりする。</li> </ul>		図 1-14 図 2-11

題 材	ポ ン ポ ン 押 そ う	月 (時数)	12月 (2時間)
目 標	○ 身の周りにあるものを使って、自由にスタンプ押しをして遊ぶ楽しさを味わわせる。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 スタンプ押しについて話を聞く。 2 スタンプになるものを集めてくる。 3 スタンプ押しをする。 ・ 押し方 ・ 形や色 4 みんなで作品を見る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師が調子よくスタンプ押しをするのを見せて、スタンプ押しへの意欲を高める。</li> <li>・ 教室やプレイルームなど子供たちが遊ぶ所にあるブロック、容器などスタンプになりそうなものを教師と一緒に集めさせるようにする。</li> <li>・ スポンジに、絵の具をしみ込ませたスタンプ台を、数色分、準備しておく。</li> <li>・ ゆっくり押ししたり、早く押ししたりして楽しくスタンプ押しをさせる。</li> <li>・ 形や色を遠えることで、いろいろな模様ができることに気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スタンプになるブロック等</li> <li>・ 絵の具</li> <li>・ スポンジ</li> <li>・ 皿</li> <li>・ 画用紙</li> </ul>	図 1-8  図 1-6 2-4  図 1-15 2-12 道 1-(2)

題 材	つ く っ て 遊 ぼ う	月 (時数)	1月 (2時間)
目 標	○ 揺れるおもちゃをつくって、それで遊ぶ楽しさを味わわせる。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 揺れるおもちゃについて話合う。 ・ シーソー ・ 玉乗りぞうさん など 2 揺れるおもちゃをつくる。 (1) つくり方を聞く。 (2) 揺れるおもちゃをつくる。 ① 本体をつくる。 ② 飾りをつくる。 ③ 飾りを付けて動かしてみる。 3 作品を見る。 4 出来上がったおもちゃで遊ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き缶や紙皿を利用した揺れるおもちゃを幾つか見せたり、実際に遊ばせたりして製作意欲を高める。</li> <li>・ 好きな動物になるように飾りを付けたり、絵をかいたりすることを話し、自分がつくって遊びたいものを決めさせる。</li> <li>・ おもちゃがよく動くように、バランスを調整をしながら飾りを付けさせる。</li> <li>・ 飾り付けや絵をかくのが難しい場合は色を塗らせたり、シールをはらせたりする。</li> <li>・ 遊ぶ中で揺れるおもちゃの動き方のおもしろさを感じ取らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参考作品</li> <li>・ 紙皿</li> <li>・ 空き缶</li> <li>・ おもり</li> <li>・ 厚紙</li> <li>・ 画用紙</li> <li>・ 色紙</li> <li>・ 油性ペン</li> <li>・ はさみ</li> <li>・ のり</li> </ul>	生・遊 2-7  図 1-5, 11 図 2-10, 11  図 1-15 生・遊 3-8



題 材	鬼の面をつくろう	月（時数）	1月（4時間）
目 標	○ 鬼の顔に塗り絵をして面をつくり、それを使って遊ぶ楽しさを味わわせる。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 鬼の面について話し合う。  2 鬼の面をつくる。 (1) つくり方を聞く。 (2) 鬼の面をつくる。 ① 塗り絵をする。 ・ 目、鼻、口 など ② 飾りを付ける。 ③ 帯紙やゴムで留める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 節分の話をして、行事との関連を知らせるとともに、参考作品を見せて、鬼の目や口などの特徴に気付かせる。</li> <li>・ 面は、子供の顔の大きさに合わせてあらかじめ切っておく。</li> <li>・ 自分の顔の部分と対応させたり、言葉掛けをしたりしながら塗らせる。</li> <li>・ 毛糸や布などを髪の毛の部分に付けさせる。</li> <li>・ 鬼の面を実際にかぶって発表させ、出来上がった喜びを十分に味わわせるようにする。</li> <li>・ 豆まきごっこをしたり、鬼ごっこをしたりして楽しく遊ばせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参考作品</li> <li>・ 塗り絵の台紙</li> <li>・ クレヨン</li> <li>・ 毛糸</li> <li>・ 布</li> <li>・ セロハンテープ</li> <li>・ 輪ゴム</li> <li>・ ホチキス</li> <li>・ 豆</li> </ul>	<div>図 1-5</div> <div>図 1-12</div> <div>図 2-12</div>
3 作品を見せ合う。			
4 出来上がった面をかぶって遊ぶ。			

題 材	積み木を並べよう	月 (時数)	2月 (4時間)
目 標	○ 積み木を並べたり積み上げたりして、いろいろな形をつかって遊ぶ楽しさを味わわせる。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 積み木について話を聞く。 ・ 形, 色, 大きさ 2 積み木遊びをする。 (1) 横に並べる。 (2) 高く積む。 (3) 家や車などをつくる。 3 作品を見る。 4 後始末をする。	・ いろいろな形, 色, 大きさの積み木を準備し, 積み木遊びへの意欲を高める。 ・ 並べっこ競争, 積みっこ競争などを取り入れたり, 自分の好きなものをつくらせたりして, 楽しみながら活動できるようにする。 ・ お互いの作品を鑑賞し合い, よくできたところをほめたり, 頑張ったことを賞賛したりして, 喜びを味わわせる。 ・ 自分で使った積み木の後始末をさせるようにする。	・ いろいろな形, 色, 大きさの積み木	図 1-7, 8, 11, 13 道 2-(3)  図 1-15  生・手 1-2

題 材	ひな人形をつくろう	月 (時数)	3 月 (4 時間)
目 標	○ 好きな色を塗ったり、色紙をはったりしてひな人形をつくることができるようにするとともに、飾る楽しさを味わわせる。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 ひな人形について話を聞く。 ・ ひな人形  2 ひな人形をつくる。 (1) つくり方を知る。 (2) ひな人形を作る。 ○ 頭や顔をつくる。  ○ 胴体をつくる。 ・ 色塗り ・ 色紙はり  3 出来上がったひな人形をひな段に飾る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「うれしいひなまつり」を歌ったり、ひな人形を見せたりして、人形をつくることへの意欲を持たせる。</li> <li>・ ひな人形を見せながら、頭と胴体があることを気付かせる。</li> <li>・ 顔は子供の能力に合わせてかかせたり、絵やシールをはらせたりする。</li> <li>・ 自由に好きな色を塗らせながら、ひな人形らしさが出るような明るい色を選ばせて塗らせる。</li> <li>・ 子供の能力に合わせて、色紙をちぎってはらせたり、あらかじめ切っておいた色紙をはらせたりする。</li> <li>・ それぞれのひな人形をひな段に飾り、飾る喜びを味わわせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ひな人形</li> <li>・ 絵の具</li> <li>・ 色紙</li> <li>・ のり</li> <li>・ 紙粘土</li> <li>・ 色紙</li> <li>・ ひな段</li> </ul>	図 1-4, 11 12, 15  道 3-(1)

題 材	プレゼントをつくろう	月 (時数)	3 月 (4 時間)
目 標	○ 色紙をちぎったり、切ったりしてはり、卒業生へのプレゼントをつくることを通して、つくる楽しさを味わわせる。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 プレゼントについて話を聞く。 ・ 壁飾り、写真立て など  2 プレゼントをつくる。 (1) 色紙をちぎる、切る。 (2) はる。  3 作品を見せ合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参考作品を見せながら、6年生へのプレゼントをつくることを知らせる。</li> <li>・ 壁飾りや写真立てなどの形はある程度教師が準備しておき、子供の実態に応じて色紙をはって完成できるようにしておく。</li> <li>・ 頑張ったところ、上手にできたところなどを賞賛するとともに、プレゼントにするので大切に扱うように注意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参考作品</li> <li>・ 色紙</li> <li>・ はさみ</li> <li>・ のり</li> </ul>	道 2-(4)  図 1-11  図 1-15

小学部 中学年

題 材	先生や友達をかこう	月 (時数)	4 月 (2 時間)
目 標	○ 好きな先生や友達を画面いっぱいに伸び伸びと表現することができるようにする。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 かく人を決める。 ・ 先生や友達  2 先生や友達をかく。 (1) 顔や体をかく。  (2) 色を塗る。  3 出来上がった作品を見る。	・ お互いの顔や体を見る中で、それぞれの特徴や様子の違いなどを教師が言葉に表し、表現意欲を持たせるようにするとともに、かきたい人を自由に決めさせる。 ・ かく人の顔や体に触れさせながら「眼鏡をかけてるね」「大きいね」などの言葉掛けをし、特徴に目を向けさせる。 ・ 画面いっぱいに大きくかかせる。 ・ 実際の色も確認していくが、子供の自由な発想を生かしていくようにする。 ・ かいた人の特徴が表れているところを賞賛したり、その人と並べて見比べさせたりして、喜びを味わわせる。	・ 画用紙 ・ パス、クレヨン ・ 絵の具	道 2-(3)  図 2-2, 3  図 1-15 2-12

題 材	こいのぼりをつくろう	月 (時数)	4 月 (2 時間)
目 標	○ ひれやしっぽなどの模様をかいたり、色紙などを使ってうろこや目玉をはったりして、こいのぼりをつくることができるようにする。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 こいのぼりについて話を聞く。 ・ 子供の日、小運動会  2 こいのぼりをつくる。 (1) ひれやしっぽをかく。 (2) うろこや目玉などを切り抜く。  (3) 本体へはり付ける。  3 こいのぼりを飾る。	・ 写真や絵カード、参考作品を見せて、こいのぼりについて知らせる。 ・ こいのぼりの本体はビニール袋などでつくっておく。 ・ 色紙や包装紙にうろこや目玉などの形をかいておき切らせていく。その際、いろいろな色や模様の紙を準備しておく。 ・ 色の組み合わせにも着目させ、できるだけ同色や同模様がままらないように言葉掛けしていく。 ・ よくできたところを賞賛したり、教室に飾ったりして喜びを味わわせる。	・ 絵カード ・ こいのぼり ・ こいのぼり(本体) ・ 色紙 ・ 包装紙 ・ はさみ ・ のり ・ セロハンテープ	図 2-10, 11  図 2-7  図 2-12 道 1-(1)

題 材	動物をかこう（スケッチ大会）	月（時数）	5 月（6 時間）
目 標	○ かきたい動物を画面いっぱいに伸び伸びと表現することができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 いろいろな動物を見る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に動物を見たり触れたり、えさをあげたりなどして、動物を身近に感じさせ、製作への意欲を持たせるようにする。</li> </ul>		生・自 1-5
2 好きな動物をかく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物の特徴に目を向けるような言葉掛けをし、形や色に着目してかくようにさせるが、とらわれすぎないで大きく伸び伸びと表現させるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>画用紙</li> <li>クレヨン</li> <li>絵の具</li> </ul>	図 2-2, 3
(1) かきたい動物を決める。			
(2) 動物をかく。			
(3) 色を塗る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一つの色だけで塗りつぶすのではなく、動物を見ながら、いろいろな色を使って塗らせる。</li> </ul>		
3 出来上がった作品を見る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物の特徴が表れているところを賞賛するようにする。</li> </ul>		図 2-12, 13

題 材	粘土でだんごをつくって遊ぼう	月（時数）	6 月（4 時間）
目 標	○ 粘土をちぎって丸めたり、くしにさしたりしてだんごをつくり、だんご屋さんごっこをして遊ぶことができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 だんごやだんご屋さんの絵や写真を見て話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな形や大きさ、色のだんごの絵や写真を準備し、形や大きさ、色などに注目させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>油粘土</li> <li>小麦粉粘土</li> <li>カラー粘土</li> <li>粘土板</li> </ul>	図 1-4 図 2-5, 6
2 粘土でだんごをつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>始めに粘土で自由に遊ばせ、十分粘土に親しませる。</li> <li>二色の粘土を丸めさせながら、混色のおもしろさに気付かせる。</li> </ul>		
・ こねる、ちぎる、丸める			
・ くしにさす、並べる、重ねる	<ul style="list-style-type: none"> <li>出来上がっただんごは、皿に置くなどして、その雰囲気を出す。</li> </ul>		
・ 大きいだんご、小さいだんご	<ul style="list-style-type: none"> <li>交換して見せ合ったり、よくできたとことを知らせたりして、お互いの作品を鑑賞させる。</li> </ul>		
3 だんご屋さんごっこをする。			生・遊 2-1 図 2-12, 13
4 後始末をする。			道 4-(1)

題 材	色紙で飾りをつくろう	月 (時数)	6 月 (4 時間)
目 標	○ たんざくつなぎや輪つなぎに色紙をのり付けして、七夕飾りをつくることができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 七夕飾りについて話を聞く。 ・ 飾り、つくり方	・ 教師が準備した小さな七夕飾りを見せ七夕子ども会で飾ることを知らせ、活動への意欲を持たせる。	・ 七夕飾り	
2 七夕飾りをつくる。 (1) 好きな色紙を選ぶ。 ・ 色や形	・ 数色の色紙や、長四角や三角、丸などいくつかの形の色紙をそれぞれ分けて箱に準備し、好きなものを選ばせる。	・ 色紙 ・ 箱	図 1-9 2-7, 8
(2) のり付けをする。 ・ たんざくつなぎ ・ 輪つなぎ	・ のりを付ける場所や、色が付いている面を表にして輪をつくることなど、子供の実態に応じて、適切に言葉掛けや援助を行って、飾りをつくらせる。	・ のり ・ 手ふき	図 2-10
3 みんなで飾る。	・ モールを付けてささに飾らせ、上手にできたところを賞賛する。	・ モール ・ ささ	図 2-12 道 1-(2)

題 材	花 火 を か こ う	月 (時数)	7 月 (4 時間)
目 標	○ パスを重ね塗りしたのをくしなどでひっかいて、色が浮かんでくるおもしろさを楽しませるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 花火について話し合う。 ・ 打ち上げ花火 ・ 線香花火 など	・ 写真や絵、実物を見せたり、実際に花火をして見せたりして、いろいろな花火について知らせたり、思い出させたりする。	・ 写真 ・ 絵カード ・ 花火	
2 かく方法について知る。	・ 実際に重ね塗りして、ひっかいてみせることにより、花火をかく方法についてより具体的に知らせる。	・ マニラボール ・ パス	
3 花火をかく。 (1) 下地に花火の色を塗る。 (2) 上塗りに暗い色を塗る。 (3) ひっかいて花火をかく。 ・ 竹ぐし、へらなど	・ 花火の色には、上塗りする色と違った明るい色をいくつか選ばせる。 ・ 暗い色（夜空）を塗る際には、できるだけ、すきまなく強く面塗りをさせる。 ・ 現われてくる色の美しさに気付かせるように言葉掛けしていく。	・ 竹ぐし ・ へら	図 1-5 2-3 図 2-2, 12
4 作品を見る。			道 3-(1)

題 材	夏休みの思い出をかこう	月(時数)	9月(2時間)
目 標	○ 夏休みの楽しかったことを思い出して、画面いっぱいに伸び伸びと表現することができるようにする。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 夏休みの思い出を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>行った場所</li> <li>楽しかったこと</li> <li>おもしろかったこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真やパンフレット、絵カードなどを使って、場所や内容について思い出させる。</li> <li>楽しかったことなどを話させたり、動作化させたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレット</li> <li>写真</li> <li>絵カード</li> <li>パス</li> </ul>	図 2-1, 2, 3, 12, 13
2 思い出を絵にかく。           (1) パスで下絵をかく。 <ul style="list-style-type: none"> <li>見たこと</li> <li>したこと</li> </ul> (2) 色塗りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面いっぱいにかくように、指示的にならないように気を付けながら言葉掛けをする。</li> <li>形を大きくかかせ、いろいろな色を選ばせて塗らせる。</li> <li>色を重ねて塗りすぎないように言葉掛けをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵の具</li> <li>筆</li> <li>画用紙</li> </ul>	道 3-(1)
3 作品を見せ合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>どんな場面をかいたのかを話させたり友達の作品の良いところを発表させたりする。</li> </ul>		

題 材	旗をつくろう	月(時数)	9月(4時間)
目 標	○ いろいろな色を組み合わせて塗り、旗をつくることができるようにするとともに、飾る喜びを味わわせる。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 いろいろな旗を見る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>万国旗</li> <li>参考作品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>万国旗を見たり、教室に飾ったりしながら模様の色や形に着目させる。</li> <li>参考作品を見せ、運動会の会場に飾ることを知らせ、製作意欲を持たせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>万国旗</li> <li>参考作品</li> </ul>	
2 旗をつくる。           (1) 模様をかく。 <ul style="list-style-type: none"> <li>線による分割、丸など</li> </ul> (2) 色を塗る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>万国旗や参考作品を見せながら、どんな模様にするか考えさせる。</li> <li>色を2, 3色選ばせ、混色しないようにさせるとともに、塗る部分が分かるように型枠などを用意して塗らせるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旗の台紙</li> <li>絵の具</li> <li>型枠</li> </ul>	図 2-3, 7
3 飾り付けをする。           (1) ひもに付ける。           (2) 飾る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>セロハンテープなどで簡単にひもに付けられるようにしておき、必要に応じて教師が補強する。</li> </ul>		図 2-9

題 材	運 動 会 を か こ う	月 (時数)	9 月 (2 時間)
目 標	○ 運動会の楽しかった場面を思い出して、画面いっぱいに伸び伸びと表現することができるようにする。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 運動会を思い出して話合う。 ・ 種目 ・ 楽しかったこと 2 運動会の絵をかく。 (1) パスで下絵をかく。 ・ かけっこ ・ リズム など (2) 色塗りをする。 3 作品を見せ合う。	・ 写真や絵を見せ、演じたことを思い出させる。 ・ 競技や演技を再演させて、どの場面をかくのかイメージを持たせる。 ・ 画面いっぱにかくように、指示的にならないように気を付けながら言葉掛けをする。 ・ 形を大きくかかせ、いろいろな色を選ばせて塗らせる。 ・ 色を重ねて塗りすぎないように言葉掛けをする。 ・ どんな場面をかいたのかを発表させたり、友達の作品の良いところを発表させたりする。	・ V T R ・ 写真 ・ 万国旗 ・ 運動会の用具類 ・ パス ・ 絵の具 ・ 筆 ・ 画用紙	図 2-1, 2, 3, 12, 13 道 2-(3) 4-(5)

題 材	箱 で 遊 ぼ う	月 (時数)	10 月 (4 時間)
目 標	○ダンボール箱をいろいろ並べたり、積み上げたりして構成して遊ぶ楽しさを味わわせる。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 ダンボール箱を使った遊びについて話を聞く。 2 並べたり、積み上げたりして遊ぶ。 3 後片付けをする。	・ いろいろな大きさや形のダンボール箱を準備し、提示して、活動への興味・関心を持たせる。 ・ 子供たちが、自分で思い付いて並べたり、積み上げたり、箱同士を詰め合わせたりなどできるように、自由に活動させる。 ・ ダンボール箱の模様や色、さまざまな形や大きさの違いに注目させ、いろいろ組み合わせて、おもしろいものができることにも気付かせるようにする。 ・ クラフトテープでつなぎ合わせたい子供へは、適宜援助しながら使わせる。	・ ダンボール箱 ・ 菓子箱等 ・ クラフトテープ	図 1-13 2-7 図 2-11 3-5 生・遊 2-12 道 1-(1)

題 材	粘土で果物をつくろう	月(時数)	10月(4時間)
目 標	○ 粘土を丸めたり、伸ばしたりして、好きな果物をつくることができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 果物について話し合う。 ・ 形、色、大きさ、手触り  2 粘土で果物をつくる。 (1) つくる果物を決める。 ・ リンゴ、バナナ など (2) 果物をつくる。 ・ こねる、ちぎる、丸める など  3 みんなで作品を見る。  4 後始末をする。	・ 実物を見せたり、触らせたりして、果物の特徴をとらえさせる。  ・ 始めに粘土で自由に遊ばせ、十分粘土に親しませる。 ・ 指先だけでなく、手のひらやこぶしなど手全体を使わせる。 ・ 子供たちの発想を大切にしていくとともに、へらで模様を付けさせたり、穴を開けさせたりなど、活動をより楽しませる。 ・ 出来上がったものは、皿に並べるなどして、果物の雰囲気が出るようにする。 ・ つくるときに頑張ったことや工夫したことなどを発表させて、鑑賞させるようにする。	・ 油粘土 ・ 小麦粉粘土 ・ カラー粘土 ・ 粘土板	図 1-4 図 2-5, 6          図 2-12, 13  道 4-(1)

題 材	つくって飾ろう(みこし・お店づくり)	月(時数)	11月(8時間)
目 標	○ 身近な材料を使って、自由に組み合わせたり、組み立てたり、飾ったりして、みこしやお店をつくることができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 つくったり、飾ったりするみこしやお店を決める。  2 みこしやお店を作ったり、飾り付けをしたりする。  (1) 土台や骨組みを作る。  (2) 紙をはったり、かいたり、色を塗ったりする。  (3) 飾り付けをする。  3 みこしやお店で自分が作った部分を発表する。	・ 昨年度つくったものを発表したり、絵カードや本を見てつくりたいものを見つけたりして、みこしやお店を決める。 ・ いくつかのダンボール箱などを組み合わせるとつくりたいみこしの形になるように、あらかじめ教師が準備したり、お店の壁面は事前に準備し、それに壁紙をはらせたり、壁面を組み合わせさせたりする。 ・ ダンボール箱に新聞紙と上質紙をはりみこしの原形をつくらせ、飾り付けをする。 ・ マーブリングしたり、ローラーにインクを付け自由に転がしたり、木の葉をはったりなど子供が思いのままに活動できるようにして壁紙をつくらせる。	・ 昨年度のみこし ・ 絵カード ・ ダンボール箱 ・ 発泡スチロール ・ お店の骨組み ・ 新聞紙  ・ 上質紙 ・ 壁紙 ・ 色紙 ・ 接着剤	国 2-8  図 2-7~11 生・自 2-1 道 2-(3)          図 2-12



題材	うっし絵をしよう	月(時数)	12月(4時間)
目標	○ 版にして写せるような材料に自分の好きな絵や模様をかき、それを版として紙に写し取る面白さや楽しさを味わわせる。		
主な学習活動・内容	留意点	準備	関連内容
1 うっし絵について話し合う。 2 うっし絵をする。 (1) つくり方を聞く。 (2) 下絵をかく。 ・ 好きな絵 ・ 模様 (3) かいたものを写し取る。 ・ 紙乗せ ・ こすり出し ・ はぎ取り 3 作品を見せ合う。	・ 参考作品とその下絵を見せ、形が写っていることに気付かせる。 ・ 実際にうっし絵をして見せ、つくり方をより具体的に知らせるとともに、形や色彩が写るおもしろさを感じさせる。 ・ 版にして写せるような材料は、広い板なども準備して、指や手でもダイナミックにかけるようにする。 ・ 写し取る紙はあらかじめ湿らせておき、手のひらやバレンでむらなくこすり取るようにする。 ・ はぎ取る際は、紙が破れないようにゆっくりはぎ取らせる。 ・ おもしろいところをお互いに探させる。	・ 参考作品 ・ 絵の具 ・ 机、下敷板、画用紙、ガラスなど ・ 薄い紙 ・ 霧吹き ・ バレン ・ 手ふき布	図 1-5, 8 9 図 2-1, 3 8 図 2-12

題 材	スタンプをつくらう	月(時数)	12月(2時間)
目 標	○ 粘土や消しゴム、芋などでスタンプをつくり、スタンプ遊びをする楽しさを味わわせる。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関 連 内 容
1 スタンプについて話し合う。 ・ 既成のスタンプ  2 スタンプをつくる。 ・ ひっかく ・ 穴を開ける ・ 丸める など  3 スタンプを押して模様をつくる。  4 スタンプや作品を見せ合う。	・ 既製のスタンプを使って、スタンプ押しのおもしろさを味わわせ、製作への意欲を高める。  ・ 身近にある柔らかい材料に、指や釘などでくぼみをつけたり、型抜きを使っていろいろな形をつくったりして、スタンプをつくらせるようにする。  ・ 握りやすいように取っ手を付けさせる。  ・ 絵の具のスタンプ台で、いろいろな色を用い、色の変化も楽しませる。  ・ 大きな紙だけでなく、はがきも使って自分だけのはがきをつくらせる。  ・ 上手なところを賞賛することにより、喜びを味わわせる。	・ スタンプ   ・ 油粘土 ・ 消しゴム ・ 芋 ・ 釘 ・ 型抜き   ・ 画用紙 ・ 絵の具のスタンプ台  ・ はがき	図 2-5  図 1-6 2-4  図 2-7  図 2-12 道 1-(2)

題 材	つくって遊ぼう	月(時数)	1月(2時間)
目 標	○ 簡単なおもちゃをつくって、それで遊ぶ楽しさを味わわせる。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 おもちゃについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>飛び出せロケット</li> <li>びよんびよんがえる</li> <li>風車、風輪、吹き流しなど</li> </ul> 2 おもちゃをつくる。         (1) つくり方を聞く。         (2) おもちゃをつくる。         ① 本体をつくる。         ② 動くか確かめてみる。         ③ 飾りを付ける。         3 作品を見せ合う。         4 出来上がったおもちゃで遊ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴムや風で動くいろいろなおもちゃを見せたり、実際に遊ばせたりして製作意欲を高めるとともに、自分がつくって遊んでみたいものを決めさせる。</li> <li>実際につくって見せ、つくり方を具体的に知らせる。</li> <li>材料は多めに準備しておき、うまく動かない場合にはもう一度つくらせたり、違う種類のものをつくらせたりする。</li> <li>色を塗ったり、色紙をはったり、絵をかいいたりして飾りを付けさせる。</li> <li>自分のつくったおもちゃで遊ぶ楽しさを味わわせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考作品</li> <li>・紙コップ</li> <li>・牛乳パック</li> <li>・輪ゴム</li> <li>・色画用紙</li> <li>・ひご</li> <li>・ストロー</li> <li>・色紙</li> <li>・油性ペン</li> <li>・はさみ</li> <li>・のり</li> <li>など</li> </ul>	生・遊 2-7      図 2-3, 10, 11   図 3-10   図 2-12 生・遊 3-8

題 材	鬼の面をつくろう	月 (時数)	1 月 (4 時間)
目 標	○ 鬼の面をかいたり、色を塗ったり、切ったりして面をつくり、それを使って遊ぶ楽しさを味わわせる。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 鬼の面について話し合う。 ・ 怖い顔、鬼の金棒 など 2 鬼の面をつくる。 (1) つくり方を聞く。 (2) 鬼の面をつくる。 ① 顔をかく。 ② 色を塗る。 ③ 切り抜く。 ④ 飾りを付ける。 ⑤ 帯紙やゴムで留める。 3 作品を見せ合う。 4 出来上がった面をかぶって遊ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 面や絵本を見せて、鬼の特徴をとらえさせる。</li> <li>・ 顔をかいたり切ったりできない子供には、面を準備して、目や口をかかせたり、色を塗らせたりする。</li> <li>・ 鬼の顔の特徴がよく表れるように、目や口などの形に気を付けてかかせる。</li> <li>・ 目の部分を切り取らせる場合は、はさみを閉じたままで穴を開けさせてから切り整えさせる。</li> <li>・ それぞれの鬼の表情のおもしろさに気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 面</li> <li>・ 絵本</li> <li>・ 厚紙</li> <li>・ パス</li> <li>・ はさみ</li> <li>・ 毛糸</li> <li>・ 布</li> <li>・ マニラボ     ール紙</li> <li>・ 輪ゴム</li> </ul>	図 1-5 2-3  図 2-10  図 2-12

題 材	いろいろな材料でつくろう	月（時数）	2月（4時間）
目 標	○ 空き缶や空き箱、木切れなど、身の周りにあるいろいろな材料を使って、好きなものをつくる楽しさを味わわせる。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 いろいろな材料を見て話し合う。 ○ どの材料で、何をつくるか。 ・ 材料 ・ つくる物 2 材料を構成する。 ・ 乗り物、動物 など 3 作品を見せ合う。	・ 事前に空き缶や空き容器、空き箱などを集めさせておくが、使えそうな材料を教師の方でも準備しておく。 ・ いろいろな材料を並べたり、組み合わせたりして遊びながら、何をつくるか考えさせる。 ・ 子供の発想を大切にしながら、自由に材料を構成させる。活動に見通しが持ちにくい場合は、「車をつくろう」など、子供が興味・関心を持っているものをつくらせる。 ・ 工夫されている点などを賞賛する。	・ 空き缶 ・ 空き容器 ・ 空き箱 ・ 木切れ など ・ セロハンテープ ・ 接着剤	図 2-7, 10, 11          図 2-12, 13

題 材	ひな人形をつくろう	月（時数）	3月（4時間）
目 標	○ 身近な材料を使ってひな人形をつくるができるようにするとともに、飾る喜びを味わわせる。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 ひな人形について話し合う。 ・ ひな人形 2 ひな人形をつくる。 (1) つくり方を決める。 (2) ひな人形をつくる。 ○ 頭や顔をつくる。 ○ 胴体をつくる。 ・ 色塗り ・ 色紙はり ・ 頭付け 3 出来上がったひな人形をひな段に飾る。	・ ひな人形を見せて、人形をつくることへの意欲を持たせるとともに、女びな男びながあることに気付かせる。 ・ 子供の実態に合わせて、空き缶、空き容器（アイスクリームなど）、紙コップなどの材料を準備し、いろいろ組み合わせて、人形をつくらせる。 ・ 色紙だけでなく、包装紙などもはらせる。 ・ 子供の能力に応じて、はさみも使わせる。 ・ 女びな、男びなに合った色を選ばせて塗らせたり、色紙などをはらせたりさせる。 ・ 互いに作品を見せ合ったり、友達の子品のよいところを発表させたりする。 ・ それぞれのひな人形をひな段に飾り、飾る喜びを味わわせる。	・ ひな人形 ・ 空き缶 ・ 包装紙 ・ 色紙 ・ 空き容器 ・ のり ・ はさみ ・ ひな段	図 2-6, 7, 9, 10, 11, 12, 13       道 3-(1)

題 材	プレゼントをつくろう	月 (時数)	3 月 (4 時間)
目 標	○ 紙や粘土などの身近な材料を使って、卒業生へのプレゼントづくりを通して、つくる楽しさや贈る喜びを味わわせる。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 プレゼントづくりについて話し合う。	・ 参考作品を見せながら、卒業生にプレゼントすることを意識付ける。	・ 参考作品	道 2-(4)
2 プレゼントをつくる。 ・ 壁飾り ・ 置物 ・ 使うもの など	・ 子供の実態に応じて、材料をはったり、色を塗ったりできるように、ある程度教師が準備しておく。	・ プレゼントづくりの材料  ・ カード	図 2-5~7, 10  国 2-19, 20
3 カードをつくる。 ・ 名前 ・ 送る言葉 など	・ 自分や卒業生の名前、送る言葉などを書かせ、作品と一緒にプレゼントさせる。		図 2-12, 13
4 作品を見せ合う。	・ 大切に扱うようにさせる。		



小学部 高学年

題 材	先生や友達をかこう	月 (時数)	4 月 (2 時間)
目 標	○ かきたい先生や友達をよく見て、画面いっぱいに伸び伸びと表現することができるようにする。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 かく人を決める。 ・ 先生や友達	・ お互いの顔や体を見的过程中で、それぞれの特徴や様子の違いに気付かせ表現意欲を高めるようにするとともに、かきたい人を自由に決めさせる。		道 2-(3)
2 先生や友達をかく。 (1) 顔や体をかく。 ・ 顔のいろいろな部分 ・ 手足 など (2) 色を塗る。 ・ 顔や服の色	・ 相手と対座させ、よく観察させたり、触れさせたりして特徴に気付かせていくようにする。 ・ 顔だけでなく、体も画面いっぱいに大きくかかせるようにする。 ・ 実際の色を確認させながら、形の中に塗らせるようにする。	・ 画用紙 ・ パス、クレヨン  ・ 絵の具	図 3-1, 5 6, 7
3 出来上がった作品を見る。	・ かいた相手と見比べさせながら、上手にかけたところを賞賛する。		図 2-12 3-12

題 材	こいのぼりをつくろう	月 (時数)	4 月 (2 時間)
目 標	○ うろこやひれをかいたものをはるなどして、みんなで協力しながらこいのぼりをつくることができるようにする。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 こいのぼりについて話し合う。 ・ 子供の日、小運動会	・ 行事との関連を知らせたり、実物を提示したりしてイメージをふくらませる。	・ こいのぼり	
2 こいのぼりをつくる。 (1) つくり方を聞く。 (2) こいのぼりをつくる。 ・ うろこやひれをかく係 ↓ ・ 切り抜く係 ↓ ・ 本体へはる係	・ 実際に一連の活動をしてみせることにより、つくり方を具体的に知らせる。 ・ こいのぼりの本体はビニール袋などでつくっておく。 ・ うろこやひれをかく係、切り抜く係など活動を分担させる。それぞれがつくったものを持ち寄って、協力してつくりあげていくようにする。 ・ 色の組み合わせや、配置などにも着目させるように言葉掛けしていく。 ・ 飾ることにより、喜びを味わわせる。	・ こいのぼり (本体) ・ 色画用紙 ・ パス ・ はさみ ・ セロハンテープ	図 2-7, 10  図 3-11 生・役 3-4 道 4-(1)  図 3-12 道 1-(2)
3 こいのぼりを飾る。			

題 材	動物をかこう（スケッチ大会）	月（時数）	5 月（6 時間）
目 標	○ かきたい動物をよく見て、画面いっぱいに伸び伸びと表現することができるようにする。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 いろいろな動物を見る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に動物を見たり、触れたり、えさをあげたりなどして、動物を身近に感じさせ、製作への意欲を高めるようにする。</li> </ul>		生・自 1-5
2 好きな動物をかく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物の体の特徴や色について尋ねたり、子供が感じているようなことを言葉にしてあげたりして、動物をよく観察するようにし、それを表すように励ます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>画用紙</li> <li>クレヨン</li> <li>絵の具</li> </ul>	図 3-1, 2, 6, 7
(1) かきたい動物を決める。			
(2) 動物をかく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>形を意識させながら、その中にいろいろな色を塗りこませるようにする。</li> </ul>		
・ 体の特徴			
(3) 色を塗る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品を見ながら、動物の特徴について話をさせたり、特徴がよく表れているところを賞賛したりする。</li> </ul>		図 3-12, 14
・ 体の色			
3 出来上がった作品を見る。			

題 材	粘土で動物をつくろう	月（時数）	5 月（4 時間）
目 標	○ 粘土をちぎったり、くっつけたりして、好きな動物をつくることができるようにする。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 好きな動物について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真や絵本、動物のミニチュアなどを見せたり、身体模倣や絵かきをさせたりして、その特徴に気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>油粘土</li> <li>小麦粉粘土</li> <li>カラー粘土</li> <li>粘土板</li> </ul>	図 2-5, 6 図 3-4
・ ぞう, きりん など			
2 粘土で動物をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めに粘土で自由に遊ばせ、十分粘土に親しませる。</li> </ul>		
(1) つくる動物を決める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供の実態に応じて、へびなどの簡単な形のものをつくるように提案するなど配慮する。</li> </ul>		
(2) 動物をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>なるべく大きな立体像をつくらせるが子供によっては、半立体でつくらせる。</li> </ul>		
・ からだをつくる。			
(大きい, 長い, 丸い など)			
・ 首や頭, 顔などをつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物の感じが出るようにしわをつけた</li> </ul>		図 3-12, 14
・ 仕上げをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ようじをさしたりなど工夫させる。</li> </ul>		
3 みんなで作品を見る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>つくるときに頑張ったことや友達</li> </ul>		図 3-9
・ の良いところを発表させたりする。			道 4-(1)
4 後始末をする。			

題 材	色紙で飾りをつくろう	月（時数）	6 月（4 時間）
目 標	○ 色や形の配列を工夫しながら色紙をのり付けして、いろいろな七夕飾りをつくることができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 七夕飾りについて話を聞く。 ・ 飾りの種類、つくり方  2 七夕飾りをつくる。 (1) 好きな色紙を選ぶ。  (2) のり付けをする。 ・ たんざくつなぎ ・ 輪つなぎ  3 みんなで飾る。	・ 色紙の色や形の組み合わせで、いろいろな七夕飾りができることを知らせ、活動への意欲を持たせる。 ・ いろいろな色や形の色紙を、箱に準備しておき選ばせる。 ・ 実態に応じて、はさみで好きな形に切らせるなどする。 ・ 色を交互に並べたり、形の配列を変えたりなど、いろいろ工夫させながらのり付けさせる。 ・ ささに自由に飾らせ、おもしろいところを賞賛して、つくった喜びを味わわせる。	・ いろいろな七夕飾り  ・ 色紙 ・ 箱 ・ はさみ  ・ のり ・ 手ふき  ・ モール ・ ささ	図 2-8  図 2-10  図 2-7 3-6  図 3-12 道 1-(2)

題 材	船をつくろう	月（時数）	7 月（4 時間）
目 標	○ 牛乳パックや発泡スチロール、板などの身近な材料で船をつくることができるようにするとともに、出来上がった船で遊ぶ楽しさを味わわせる。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 船について話し合う。 ・ 形、材料について ・ 用具について  2 船をつくる。 (1) 船の形をつくる。 ○ 組み合わせる。 ○ 切る。 など (2) 飾り付けをする。 ・ 色塗り   ・ シールはり  3 出来上がった船で遊ぶ。 (1) 作品を鑑賞する。 (2) 水に浮かべて遊ぶ。	・ 船の写真や絵、参考作品などを見せたり、材料を見せたりして、どんな材料でどんな船をつくりたいか話し合わせる。 ・ 牛乳パックを組み合わせで船の形をつくったり、発泡スチロールや板などを船の形に切ったりさせる。板などを切る際教師が手を添え、安全に十分留意しながら切らせるようにする。 ・ 材料に応じてシールやつまようじ、釘などを準備し、自由に飾り付けをさせたり、色を塗らせたりする。 ・ 工夫したところなどを発表させる。 ・ プールで自由に遊ばせる。	・ 写真 ・ 絵 ・ 参考作品 ・ 牛乳パック ・ 発泡スチロール ・ はさみ ・ スチロールカッター ・ のこぎり ・ 釘 など	図 3-8～10          生・遊 2-7

題 材	夏休みの思い出をかこう	月 (時数)	9 月 (2 時間)
目 標	○ 夏休みの楽しかったことを思い出して、その様子が分かるようにかくことができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 夏休みの思い出を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>行った場所</li> <li>したこと</li> <li>楽しかったこと</li> </ul> 2 思い出を絵にかく。           (1) パスで下絵をかく。 <ul style="list-style-type: none"> <li>活動している様子</li> <li>周りの風景</li> </ul> (2) 色塗りをする。           3 作品を見せ合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真やパンフレット、絵カードなどを使って、場所や具体的な場面を思い出させる。</li> <li>自分の動きが分かるように動作させ、かきたい場面のイメージを持たせて、画面にかき込ませる。</li> <li>自分を中心にかかせるが、海や山などの周りの風景もかき込ませ、夏休みの様子が分かるように表現させる。</li> <li>筆の大きさや使い方を工夫させ、明るさが表現できるような色を選ばせて塗らせる。</li> <li>色を重ねて塗り過ぎないように言葉掛けをする。</li> <li>かいた場面を発表させたり、友達の子のよいところを発表させたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレット</li> <li>写真</li> <li>絵カード</li> <li>パス</li> <li>油性ペン</li> <li>絵の具</li> <li>筆</li> <li>画用紙</li> </ul>	図 3-1, 2, 7, 12, 14  道 3-(1)

題 材	旗をつくろう	月 (時数)	9 月 (4 時間)
目 標	○ いろいろな色や形を組み合わせて旗をつくることができるようにするとともに、飾る喜びを味わわせる。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 旗づくりについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>形、色、大きさ など</li> </ul> 2 旗をつくる。           (1) 台紙を選ぶ。           (2) 模様をかく。 <ul style="list-style-type: none"> <li>丸、三角、四角、曲線 など</li> </ul> (3) 色を塗る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>鮮やかな色の組み合わせ</li> </ul> 3 飾り付けをする。           (1) ひもに付ける。           (2) 飾る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>万国旗を見せたり、運動会の会場に飾ることを知らせたりして、製作意欲を高める。</li> <li>旗の台紙は、三角形や四角形などの紙やビニールなどをあらかじめ準備しておき、子供に選ばせるようにする。</li> <li>単純な形を組み合わせたり、同じ形を繰り返させたりするが、あまり細かな模様にならないようにする。</li> <li>鮮やかな色を選ばせ、塗り分けさせる。</li> <li>セロハンテープなどで簡単にひもに付けられるようにしておき、必要に応じて補強する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>万国旗</li> <li>参考作品</li> <li>旗の台紙</li> <li>クレヨン</li> <li>ペン</li> <li>絵の具</li> <li>ひも</li> <li>セロハンテープ</li> </ul>	図 3-6, 11  図 3-14



題 材	運動会をかこう	月(時数)	9月(2時間)
目 標	○ 運動会の楽しかった場面を思い出して、その様子が分かるようにかくことができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 運動会で楽しかった場面を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 種目</li> <li>・ 楽しかったこと</li> </ul> 2 運動会の絵をかく。 (1) パスで下絵をかく。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 演技, 競技</li> <li>・ 応援</li> <li>・ 飾り など</li> </ul> (2) 色塗りをする。 3 作品を見せ合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動会のVTRや写真を見せ、楽しかった場面を思い出させる。</li> <li>・ 楽しかった場面を話させたり、動作化させたりしてかきたい場面のイメージを持たせる。</li> <li>・ 競技や演技の用具や万国旗などもかき込ませ、運動会の様子が分かるようにかかせる。</li> <li>・ 筆の大きさや使い方を工夫させ、力強さや明るさが表せるような色を選ばせて塗らせる。</li> <li>・ 色を重ねて塗り過ぎないように言葉掛けをする。</li> <li>・ かいた場面を発表させたり、友達作品のよいところを発表させたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ VTR</li> <li>・ 写真</li> <li>・ 万国旗</li> <li>・ 運動会の用具類</li> <li>・ パス</li> <li>・ 絵の具</li> <li>・ 筆</li> <li>・ 画用紙</li> </ul>	図 3-1, 2, 7, 12, 14  道 2-(3) 4-(5)

題 材	箱 で 遊 ぼう	月(時数)	10月(4時間)
目 標	○ いろいろな箱をつなぎ合わせたり、切ったり、飾り付けをしたりしてつくりたいものをつくって遊ぶ楽しさを味わわせる。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 箱を使った遊びについて話を聞く。 2 箱で、つくりたいものをつくる。 (1) つくりたいものを決める。 (2) 自由につくる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ つなぎ合わせる。</li> <li>○ 切ったり、穴を開けたりする。</li> <li>○ 飾り付けをする。</li> </ul> 3 できあがった作品で遊ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乗り物やロボットなど参考作品で活動してみせて、つくりたいものをつくっていくことに意欲を持たせる。</li> <li>・ 箱の大きさや形は、できるだけ豊富になるように準備する。</li> <li>・ クラフトテープやカッターナイフなどの扱いが困難な子供に対しては、教師が適宜援助する。特に、安全面に配慮する。</li> <li>・ いろいろな材料を使って、飾り付けができるように、できるだけ多くの種類の材料を準備する。</li> <li>・ 作品を見せ合ったり、思いきり活動したりできるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参考作品</li> <li>・ ダンボール箱</li> <li>・ 菓子箱等</li> <li>・ クラフトテープ</li> <li>・ カッターナイフ</li> <li>・ はさみ</li> <li>・ 毛糸</li> <li>・ カラーテープ</li> <li>・ 色紙 など</li> </ul>	図 2-7 3-5, 6 図 2-10 3-8  図 2-11 3-4, 5  生・遊 3-8 道 1-(2)

題 材	紙粘土でつくろう	月 (時数)	10月 (4 時間)
目 標	○ 紙粘土を使って、色や形に気を付けながら、自分の好きなものをつくらることができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 自分のつくりたいものについて話し合う。 ・ 果物、動物、乗り物 など	・ 子供たちの様子から、果物や動物など予想されるものの写真や絵カード、ミニチュアなどを準備しておきその特徴がとらえやすいようにする。	・ 紙粘土 ・ 粘土板	図 2-5, 6 図 3-4
2 紙粘土でつくる。 (1) つくるものを決める。 (2) 紙粘土でつくる。 (3) 色塗りをする。	・ 初めに粘土で自由に遊ばせ、十分粘土に親しませる。 ・ 水をあまりつけすぎないように注意するが、子供たちがつくりやすいような柔らかさに紙粘土を、あらかじめしておく。	・ 絵の具 ・ 筆	図 3-5~7
3 みんなで作品を見る。	・ へらを使わせたり、ひごやストローなどの補助材料を付けさせたりなどして、特徴が出るように工夫させる。		図 3-12, 14
4 後始末をする。	・ つくるときに頑張ったことや友達の商品の良いところを発表させる。		図 3-9 道 4-(1)

題 材	みんなで作って飾ろう (みこし・お店づくり)	月 (時数)	11月 (8 時間)
目 標	○ 身近ないろいろな材料を使い、協力して、組み立てたり、飾ったりしてみこしやお店をつくらることができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 みこしやお店の形やつくり方などについて話し合う。	・ 土台や骨組みのつくり方についても、簡単に話し合わせる。	・ ダンボール箱	国 3-3
2 みこしやお店をつくる。 (1) 材料や用具を準備する。	・ 事前に、飾りに使えそうなものを準備するように家庭に連絡する。	・ 発泡スチロール	図 3-5~9
(2) 役割分担をする。	・ 材料や用具は一か所に置いておき、いつでも必要なものは取れるようにしておく。	・ ベニヤ板	図 3-11
(3) いろいろな材料を使ってつくる。	・ 新聞紙や紙にのりを付ける、はる、色を付けるなど、役割を交代しながらつくるようにする。	・ 新聞紙 ・ 上質紙 ・ 接着剤 ・ 絵の具	生・自 2-1 道 2-(3)
3 飾り付けをする。	・ みこしの種類やお店の品物に合った飾り付けを考えさせる。	・ いろいろな材料や用具	
4 出来上がったみこしやお店について発表する。	・ 工夫したところ、頑張ったところなどを発表させ、その良さを認め合わせる。		図 3-12

題 材	版 画 を し ょ う	月 (時数)	12月 (6時間)
目 標	○ 紙や粘土などで版をつくり、版遊びをして、写る面白さや楽しさを味わわせる。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 版のつくり方を知り、どんな版にするか決める。 2 版をつくる。 ○ 台紙に紙や木の葉、布をはる。 ○ 粘土台に型押しをする。 ○ くぎなどで絵や模様をかく。 ○ 鉛筆などで下絵をかき、トラペニアップで版をつくる。 3 写して遊ぶ。 ・ 紙質や色を変えて ・ 簡易印刷機で 4 自分の作品を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>参考作品を見せたり、刷って見せたりして、版にして刷る面白さや楽しさを知らせる。</li> <li>のりがしっかり付いていないと刷るときにはがれやすいので、まんべんなくのりを付けさせるようにする。</li> <li>型押しの材料は家庭などからも持ってきてもらい、いろいろなものを版にし、子供たちの版に対する興味・関心を高める。</li> <li>下絵をかかせるときには、子供たちに身近で興味・関心のあるものにする。</li> <li>紙や色を変えて、何枚も刷らせる。</li> <li>バレンや手のひらでむらなくこすらせるようにする。</li> <li>発表させ、表現の喜びを味わわせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参考作品</li> <li>印刷用具</li> <li>台紙</li> <li>はるもの</li> <li>製作用具</li> <li>鉛筆</li> <li>トラペニアップ</li> <li>印刷用具</li> <li>簡易印刷機</li> </ul>	国 3-3 図 2-4 図 3-3 道 2-(3) 図 3-12

題 材	つ く っ て 遊 ぼ う	月 (時数)	1月 (2時間)
目 標	○ 簡単な動くおもちゃをつくって、それで遊ぶ楽しさを味わわせる。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 動くおもちゃについて話し合う。 2 つくりたいおもちゃを決める。 ・ 自動車 ・ 船 など 3 動くおもちゃをつくる。 (1) つくり方を聞く。 (2) 動くおもちゃをつくる。 ① 本体をつくる。 ② 車輪や帆をつくる。 ③ 組み立てる。 ④ 飾りを付ける。 4 作品を見せ合う。 5 出来上がったおもちゃで遊ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真や絵本を見せたり、実物のおもちゃで遊ばせたりして製作意欲を高める。</li> <li>各部分の形の特徴や動く仕組みに気付かせる。</li> <li>発泡スチロール皿や紙コップ、空き箱など身近な材料を利用してつくらせる。</li> <li>幾つかの材料を組み合わせて、本体の形をつくらせる。</li> <li>タイヤをつくる際は、発泡スチロール皿にコップをかぶせ、何度もなぞらせて切り抜かせる。</li> <li>自分や友達のおもちゃの形や動き方の違いを楽しませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真</li> <li>絵本</li> <li>おもちゃ</li> <li>発泡スチロール皿</li> <li>紙コップ</li> <li>空き箱</li> <li>ストロー</li> <li>竹ひご</li> <li>油性ペン</li> <li>色紙</li> <li>色テープ</li> <li>はさみ</li> </ul>	生・遊 2-7 図 2-7, 10, 11 3-6, 10 図 3-12 生・遊 3-8

題 材	鬼の面をつくろう	月（時数）	1月（4時間）
目 標	○ 紙袋などに顔をかいて色を塗ったり、角を付けたり、髪の毛を付けたりして面をつくり、それを使って遊ぶ楽しさを味わわせる。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 鬼の面について話し合う。 2 鬼の面をつくる。 (1) つくり方を聞く。 (2) 鬼の面をつくる。 ① 目の位置に穴を開ける。 ② 顔をかく。 ③ 角を付ける。 ④ 色を塗る。 ⑤ 飾りを付ける。 ⑥ あごひもを付ける。 3 作品を見せ合う。 4 出来上がった面をかぶって遊ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙袋やダンボール箱などのかぶれる物を材料として、立体的な面をつくらせる。</li> <li>紙袋などをかぶって自分の目の位置を確かめさせてから、穴を開けさせるようにする。</li> <li>角は紙を丸めてつくらせ、取れないように顔にしっかり付けさせる。</li> <li>毛糸や布を髪の毛の部分などに付けさせる。</li> <li>かぶって遊んでいる際に面が取れないように、ひもの長さを調節しながらあごひもを付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参考作品</li> <li>紙袋</li> <li>ダンボール箱</li> <li>はさみ</li> <li>画用紙</li> <li>パス</li> <li>絵の具</li> <li>毛糸</li> <li>布</li> <li>ゴムひも</li> </ul>	図 3-5  図 2-10  図 2-3  図 2-12 3-12

題 材	いろいろな材料でつくろう	月（時数）	2月（4時間）
目 標	○ 空き缶や空き容器、空き箱、木切れなど、身の周りにあるいろいろな材料を使って、好きなものをつくったり、工夫したりする楽しさを味わわせる。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 いろいろな材料を見て話し合う。 ・ 材料 ・ つくる物 2 材料を構成する。 ・ 乗り物、動物、怪獣、ロボット など 3 作品を見せ合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に空き缶や空き容器、空き箱などを集めさせておくが、使えそうな材料を教師の方でも準備しておく。</li> <li>いろいろな材料を並べたり、組み合わせたりすると、何に見えるか、何が出来そうか、実際にさせながら考えさせる。</li> <li>子供の発想やイメージなどを大切に、思いに合わせて自由に構成できるようにする。活動に見通しが持ちにくい場合は、子供が興味・関心を持っているものをつくるように援助する。</li> <li>工夫されている点などを賞賛する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き缶</li> <li>空き容器</li> <li>空き箱</li> <li>木切れなど</li> <li>セロハンテープ</li> <li>接着剤</li> </ul>	図 3-9  図 3-5～7  図 3-12

題 材	ひな人形をつくろう	月 (時数)	3 月 (4 時間)
目 標	○ いろいろな材料を使ってひな人形をつくるができるようにするとともに、飾る楽しさを味わわせる。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 ひな祭りについて話し合う。 ・ 期日、飾りなど 2 ひな人形をつくる。 (1) つくり方を知る。 (2) ひな人形をつくる。 ○ 頭や顔をつくる。 ○ 胴体をつくる。 ・ 色塗り ・ 色紙はり ・ 飾り付け ・ 頭を付ける ○ びょうぶをつくる。 ・ 色塗り ・ 色紙はり 3 出来上がったひな人形をひな段に飾る。	・ ひな人形を見せて、人形をつくることへの意欲を持たせるとともに、びょうぶなどの飾りのあることに気付かせる。 ・ 子供の実態に合わせて、空きびん、発泡スチロール、千代紙、和紙、卵のからなどを準備し、いろいろ組み合わせて人形をつくらせる。 ・ 女びな、男びなに合った色を選ばせて塗らせたり、千代紙や和紙などをはらせたりする。 ・ 女びな、男びなに合わせて髪型を工夫させたり、扇子や帯なども付けさせたりする。 ・ 子供の実態に合わせて、はさみやセロハンテープを使わせる。 ・ びょうぶなどの飾りもつくらせ、ひな人形と一緒に飾る喜びを味わわせる。 ・ 工夫したところや友達の仕事の良いたころを発表させる。 ・ それぞれのひな人形をひな段に飾り、飾る喜びを味わわせる。	・ ひな人形 ・ 空きびん ・ 発泡スチロール ・ 千代紙 ・ 和紙 ・ 卵のから ・ 接着剤 ・ セロハンテープ ・ のり ・ はさみ ・ ひな段	図 3-4, 5, 9, 11, 12, 14 道 3-(1)

題 材	プレゼントをつくろう	月 (時数)	3 月 (4 時間)
目 標	○ いろいろな材料や用具を使って、卒業生やお世話になった人などへのプレゼントづくりを通して、つくる楽しさや贈る喜びを味わわせる。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 プレゼントについて話し合う。 ・ 何をつくるか ・ 誰にプレゼントするか 2 プレゼントをつくる。 ・ 壁飾り ・ 置物 ・ 使うもの など 3 カードをつくる。 ・ 自分や相手の名前 ・ 送る言葉 など 4 作品を見せ合う。	・ 5 年生は 6 年生に、6 年生はお世話になった先生や親などにプレゼントすることを意識付け、意欲を持たせる。 ・ 子供の実態に応じて、形をつくったり、材料をはったり、色を塗ったりできるように、ある程度教師が準備しておく。 ・ プレゼントする人に合わせて名前を書いたり、言葉を書いたりさせる。 ・ 大切に扱うようにさせる。	・ 参考作品 ・ プレゼントつくりの材料 ・ カード	道 2-(4) 図 3-4~6 国 3-15, 17 図 3-12, 14

中学部

題 材	見 て か こ う	月 (時数)	4 月 (2 時間)
目 標	○ 友達や果物などの特徴をよく観察しながら、形や色などを考えて伸び伸びと表現することができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 かく対象について話し合う。	・ 友達の顔を見せ合ったり、本物や模型の果物や静物画等を見せて、表現意欲を高める。	・ 果物 ・ 花	美 4-14
2 かく対象を決める。	・ 対象の特徴について気付かせる。互いに発表させるなどして、形、大きさ、色合いの特徴のイメージをはっきりさせる。		美 4-2, 1
3 対象物（友達や果物等）をかく。 (1) 全体の輪郭をかく。 (2) 細かい特徴をかく。 (3) 着色する。	・ 大きく大胆にかかせるとともに、部分的には絶えずよく見て特徴をとらえることができるように配慮する。 ・ 細かい着色ができない生徒には、輪郭が分かるようにクレヨン等を使わせる。	・ 画用紙 ・ 絵の具 ・ クレヨン	美 4-8, 2
4 作品を鑑賞する。	・ いかにもうまく特徴をとらえているかについて紹介し、自信を持たせる。		美 4-13

題 材	こいのぼりをつくろう	月 (時数)	4 月 (2 時間)
目 標	○ 大型のこいのぼりを共同製作することを通して、みんなで協力してつくりあげる喜びを味わせるとともに、色や形の組み合わせを工夫して表現することができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 こいのぼりについて話し合う。 ・ 種類 ・ 目的	・ こどもの日に掲げるだけでなく、小運動会の種目や会場設営でも使われることを知らせ、意欲を高める。	・ こいのぼり	美 4-13
2 どんなこいのぼりをつくるかを決める。 ・ 色、大きさ、形等	・ 材料にはビニールごみ袋等でおおよその輪郭をつくった物を準備し、どのようなものにするかのイメージを持たせる。	・ ビニール袋 ・ 色紙	美 4-10 美 4-6, 5
3 こいのぼりをつくる。 (1) 目、うろこ、しっぽなどをつくる。 (2) 各部分を本体にはりつけて完成させる。	・ 製作部分の役割分担をさせ、個々の技能に合った活動になるようにする。 ・ 各部分品については、生徒の発想を十分に生かすようにする。	・ はさみ ・ のり	
4 作品を鑑賞する。	・ しばらくは教室の設営に使う。		

題 材	動 物 を か こ う	月 (時数)	5 月 (6 時間)
目 標	○ 動物の顔や形、動きなど特徴をよく観察し、見たこと感じたことを伸び伸びと表現することができるようにする。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 いろいろな動物を見る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>実際に動物園等で観察させ、実物の大きさの迫力を感じさせたり、羽根の色の美しさに感動させたりして、製作への意欲化を図る。</li> <li>感動の薄れないうちに、その場で決めさせるとともに、感動した点について教師も共有できるようにする。</li> <li>画用紙いっぱいにかかせるように指導するが、それぞれの動物のイメージを尊重して伸び伸びとかかせるようにする。</li> <li>スケッチ大会の作品として、学級や学部もしくは学校での鑑賞の場を設定するようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>画板</li> <li>マニラボール</li> <li>絵の具</li> </ul>	美 4-1, 14
2 かきたい動物を決める。			
3 動物をかく。 (1) 下絵をかく。 (2) 着色する。			美 4-2  美 4-6
4 作品を鑑賞する。			

題 材	く る ま を つ く ろ う	月 (時数)	6 月 (4 時間)
目 標	○ 身の周りの形や材質の異なったいろいろな材料をくるまの各部分に見立て、製作することでのくるまをつくる楽しさや出来上がった作品で遊ぶ喜びを味わうことができるようにする。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 くるまについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活単元学習「バスや電車の利用」と関連付けていろいろな乗り物の種類について話し合い、製作への意欲化を図る。</li> <li>ダンボール箱や牛乳の空パックなど、廃材を土台にして、イメージ形成の援助になるようにする。</li> <li>タイヤ等、動かすための部品については既製のものを利用するなどして、生徒にはデザイン、装飾の部分で様々な工夫の機会を与えるようにする。</li> <li>それぞれの作品の工夫点について紹介し、互いの成果を認め合うようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図鑑</li> <li>模型</li> <li>ダンボール箱</li> <li>空き箱</li> <li>タイヤ</li> <li>キャップ</li> <li>色紙</li> <li>のり</li> <li>はさみ</li> <li>色セロハン</li> </ul>	美 4-1
2 自分がつくるくるまを決める。			美 4-10
3 くるまをつくる。 (1) 土台をつくる。 (2) 飾り付けをする。 (3) タイヤを付ける。			美 4-11
4 作品を鑑賞したり、遊んだりする。			





題 材	ポスターをかこう（運動会）	月（時数）	9月（4時間）
目 標	○ 簡単な表現技法を経験させるとともに、知らせたいことがよく分かるように、色や形を工夫して表現できるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 ポスターについて知る。 ・ 役割 2 工夫すべき点について考える。 3 運動会のポスターをつくる。 (1) 図柄や配置を考える。 (2) 下絵をかく。 (3) 文字を入れる。 (4) 着色をする。 4 作品を鑑賞する。 (1) 作品を発表し合う。  (2) 作品を掲示する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来てほしい人について話し合うことでポスターの意義について理解させる。</li> <li>・ 参考作品について評価し合うことで、工夫すべき点について気付かせる。</li> <li>・ 実態に応じて、ステンシル、コラージュ、パチック等の技法を用い、それぞれの生徒のイメージが実現されるようにする。</li> <li>・ 互いの作品を鑑賞し合う中で、どのような工夫が効果的であったかについて気付かせる。</li> <li>・ 近所の商店等にはらせてもらい、生活で生かされることを実感させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ V T R</li> <li>・ 参考作品</li> <li>・ 絵の具</li> <li>・ マニラボール紙</li> <li>・ ブラシ等</li> <li>・ ビニール袋</li> </ul>	美 4-14 美 4-6  美 4-7, 6

題 材	こんな仕事をしてみたい	月（時数）	9月（4時間）
目 標	○ 自分の将来の夢や好きな仕事についてイメージを膨らませ、画用紙いっぱいに伸び伸びと表現することができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 いろいろな職業について話し合う。  2 自分のかきたいテーマを決める。 ・ つきたい職業 ・ かきたい場面 3 絵に表現する。 (1) 下絵をかく。 (2) 着色する。 4 作品を鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な仕事についての資料を準備することで、テーマを自由に考えることができるようにする。親の職業についても話題にする。</li> <li>・ 自分の特技等についても考えさせ、テーマに現実感を持たせるようにする。</li> <li>・ たくましさ、美しさ、楽しさ等のイメージを意識させ、伸び伸びとかかせるようにする。</li> <li>・ 互いに作品を鑑賞させ、工夫点を発表させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写真</li> <li>・ V T R</li> <li>・ 職業関連道具</li> <li>・ マニラボール紙</li> <li>・ 絵の具</li> </ul>	生・遊 10-1  美 4-1

題 材	お面をつくろう	月（時数）	10月（6時間）
目 標	○ 身の回りの形や材質の異なったいろいろな材料を、いろいろにイメージしながら組み合わせ、お面をつくる楽しさや出来上がった作品で遊ぶ喜びを味わうことができるようにする。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 お面について話し合う。	・ 既製の様々なお面等を準備し、実際にかぶったり遊んだりすることで意欲を高める。	・ 既製のお面	美 4-13
2 つくりたいお面を決める。	・ 動物や、アニメ、原始芸術の写真などを提示することで、自由なテーマの決定を促す。	・ 写真 ・ 図鑑 ・ ダンボール	美 4-12
3 お面をつくる。 ・ 形づくり ・ 装飾 ・ 彩色	・ 材料は廃材など身の回りの物を豊富に準備し、イメージに応じた様々な見立てを援助できるようにする。 ・ 作品によっては、服の部分まで製作させダイナミックな変身ができるように工夫させる。	・ プラボ ・ ル ・ 空き箱 ・ ビニール袋	美 4-10 美 4-4, 11
4 作品を身に着けて遊んだり、飾ったりする。	・ 教室外まで活動範囲を広げるようにして、表現の喜びを味わわせる。	・ 絵の具 ・ 鏡	

題 材	ポスターをかこう（附養まつり）	月（時数）	10～11月（4時間）
目 標	○ 様々な表現技法を経験させるとともに、知らせたいことがよく分かるように、色の寒暖の組み合わせや図柄の配置を工夫して表現することができるようにする。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 附養まつりのポスターについて話し合う。 ・ 附養まつり ・ 表示内容	・ 附養まつりについて話し合わせるとともに、運動会のポスターについて思い出させることで、ポスターの意義について再確認させる。	・ 既製のポスター	美 4-14 美 4-8
2 附養まつりのポスターをかく。 (1) 図柄や配置を考える。 (2) 着色をする。 (3) 文字を入れる。	・ 生徒の実態に応じた技法を用いるようにするが、なるべく運動会のポスターとは別の技法になるようにする。 ・ 期日、場所等のレタリングについては実態を考慮し、教師の方で準備する。	・ マニラボール紙 ・ 絵の具 ・ はけ ・ ローラー	美 4-5～7
3 作品の鑑賞をする。	・ 互いの作品の色や形、配置等の工夫について発表し合えるようにする。		
4 作品を掲示する。	・ 近所の商店等にはらせてもらい、生活で役立つ喜びを味わわせる。	・ ビニール袋	

題 材	カレンダーをつくろう	月(時数)	11～12月(4時間)
目 標	○ カレンダーづくりを通して版画の簡単な技法を身に付けるとともに、自分の作品が家庭の中に1年間飾られ役立つことの喜びを味わうことができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 カレンダーについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>参考作品等を基に、カレンダーの機能面のことだけでなく、楽しく鑑賞できる装飾面の意義について気付かせる。</li> <li>1年間の暮らし、アニメ、友達の顔、動物等、自分の描きたいものを決めさせる。表現技法との関係で、あまり複雑なものにならないように指導する。</li> <li>版画紙については既製のものを使用し図柄デザインだけの製作になるようにする。</li> <li>作品は自宅に持ち帰らせ、1年間飾って使ってもらえるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参考作品</li> <li>既製のカレンダー</li> <li>アニメ絵本</li> <li>動物図鑑</li> </ul>	美 4-13, 14
2 来年のカレンダーのテーマを決める。			美 4-1
3 カレンダーの製作をする。 (1) 原画をかく。 (2) 版をつくる。 ・ 木版、ゴム版、芋版、ステンシル、紙版等 (3) 原版に着色し、刷る。		<ul style="list-style-type: none"> <li>はさみ</li> <li>版</li> <li>のり</li> <li>版画紙</li> <li>インク</li> </ul>	美 4-6 美 4-3
4 作品の鑑賞をする。			

題 材	クリスマスのかざりをつくろう	月(時数)	12月(4時間)
目 標	○ 素材の形を生かした形の組み合わせや色の組み合わせを工夫しながら、様々なオーナメントを製作することができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 クリスマス会について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年のクリスマス会のVTRや、様々な資料から装飾の様子について気付かせる。</li> <li>既製のオーナメントや参考作品及び飾りなしのツリー等を提示し、イメージを膨らませるとともにつくりたいものの明確化を図る。</li> <li>クリスマスに関連のある赤、緑、白を基調にしながら自由な発想や組み合わせの工夫を促すようにする。</li> <li>ツリーに飾り付けさせ、互いの工夫点について気付かせる。学部のクリスマス会でも紹介の場を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>VTR</li> <li>写真</li> </ul>	
2 つくる飾りを決める。		<ul style="list-style-type: none"> <li>既製のオーナメント</li> <li>ツリー</li> </ul>	美 4-14
3 飾りをつくる。		<ul style="list-style-type: none"> <li>色画用紙</li> <li>カップ容器</li> </ul>	美 4-7, 8 10
4 飾り付けをして鑑賞する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>色紙</li> </ul>	美 4-13

題 材	たこをつくろう	月（時数）	1月（4時間）
目 標	○ 木や竹、ビニール等のいろいろな素材の性質を考え、バランスに留意しながら組み立てたり、色の組み合わせに留意しながらデザインしたりして簡単なたこをつくることができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 たこについて話し合う。	・ たこつくりやたこあげの経験について振り返らせ、製作への意欲化を図る。	・ 参考作品	美 4-12
2 たこのつくり方について知る。	・ 参考作品（完成品）を提示することでイメージをはっきりさせ、つくり方の予測が立てられるようにする。	・ 竹ひご	美 4-10
3 たこをつくる。	・ 生徒の技能に応じた構造のものを準備するようにするが、骨組みはバランス等に狂いがないように教師が援助する。絵は自由な表現になるように配慮する。	・ 角材	美 4-1
・ 絵かき	・ 美術の時間だけでなく、他の学習の時間、休み時間等を利用して楽しく遊べるようにする。	・ 絵の具	
・ 骨組み		・ ビニール袋	
4 揚げたり飾ったりする。			

題 材	人形をつくろう	月（時数）	1～2月（4時間）
目 標	○ 粘土によって劇における自分の役の特徴をとらえた人形を製作することができるようにするとともに、それを使って遊ぶ楽しさを味わうことができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 学習発表会の劇について話し合う。	・ 登場人物の人柄や特徴などについても触れ、創作意欲の喚起を図る。	・ 劇の台本	美 4-12
・ 登場人物			
・ 自分の役柄			
2 人形をつくる。	・ 役柄にふさわしいポーズや表情が表現できるように、様々な状況をイメージさせる。骨組みを工夫することで置物として使えるようにバランスのとれたものになるようにする。	・ 土台	美 4-4
(1) 人形のポーズを決める。		・ 粘土	美 4-9
(2) 粘土で形をつくる。		・ 絵の具	
(3) 着色をする。			
3 鑑賞をする。	・ 劇のBGMを流しながら紹介するなど雰囲気づくりを工夫する。	・ テープレコーダー	
(1) 互いの作品を見る。			
(2) 劇遊びをする。			
(3) 飾る。			

題 材	プレゼントをつくろう	月（時数）	2 月（4 時間）
目 標	○ 粘土やプラスチックなどいろいろな素材の性質を考え、色の組み合わせを工夫してプレゼントをつくる楽しさや使ってもらう喜びを味わうことができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 プレゼントについて話し合う。	・ 卒業生などの写真を見せて、プレゼントを贈る対象について確認し、製作への意欲を高める。	・ 写真	
2 どのようなプレゼントにするかを決める。	・ 自分の贈る相手を決めさせ、どのようなプレゼントが似合うかについてイメージを明確にさせる。	・ 粘土 ・ 木材 ・ プラスチック	道 2-(2)  美 4-10, 11
3 プレゼントをつくる。	・ ブローチ、ペンダント、壁飾りなど、生徒の実態に応じてつくるものを選択する。大きさ、色合いのバランスなど工夫をさせる。 ・ 自分のものをペアでつくらせるのもよい。	・ 接着剤  ・ ひも類	美 4-6, 9
4 プレゼントを贈る。	・ お別れ会等の機会に贈るようにする。		

題 材	記念品をつくろう	月（時数）	2～3 月（6 時間）
目 標	○ 全体の形や色、大きさのバランス等に留意しながらモザイク、はり絵、立体作品などを共同で製作し、飾る喜びを感じることができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 記念の作品について話し合う。	・ 残り少なくなった学年度について知らせるとともに、現在のメンバーで中学部が構成されるのもあわせてかであることを確認させ、共同製作の意欲を高める。		
2 作品を決める。	・ 過去の作品や資料を参考にし、生徒の興味・関心の対象等から選ぶ。	・ 参考作品 ・ 写真	美 4-14
3 製作をする。 (1) 全体の下絵をかく。 (2) 分割する。 (3) 分担で製作する。 (4) 組み合わせる。	・ 立体作品の場合は、イメージスケッチ等で見通しを持たせ期待感を持たせるとともに、全体のバランスについても考えさせる。	・ ベニヤ板 ・ 絵の具 ・ タイヤ ・ アクリル板	美 4-12, 8
4 作品を飾る。	・ 玄関や廊下の壁面に飾るなど全校的に紹介の場を設ける。		

高等部

高等部				
題 材	顔をつくろう	月(時数)	4月(4時間)	
目 標	○ 友達や教師の顔の表情や形をいろいろな角度から観察し、表したい感じを用具などを使って楽しく立体表現ができるようにする。			
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容	
1 友達や先生の日ごろの様子について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 怒ったときや喜んだとき</li> <li>・ よいところや好きなところ</li> </ul> 2 つくる友だちや先生を決める。         3 顔を立体に表す。         (1) つくりたい感じが表せるように、目や鼻、口の形や位置を工夫する。         (2) 顔の表情や形を観察する。         (3) 用具を使って細かな部分をつくる。         (4) 彩色(着色)をする。         4 できた作品を展示、鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行事の思い出や休み時間の様子などから、友達や先生の印象や顔の表情のイメージを持たせる。</li> <li>・ 顔にはいろいろな表情があることに気付かせ、表情による顔の特徴を印象付ける。</li> <li>・ 塑像や彫刻などの表現の方法や粘土や発泡セメントなどの表現材料を個々の生徒の能力や材料経験を考慮して準備する。</li> <li>・ 観察によって細かな特徴に気付かせたり、言葉掛けによりイメージを明確にさせたりする。</li> <li>・ お互いに表したい感じを表現できたとことを認め合わせ、表現の喜びを感じさせる。</li> </ul>	・写真  ・粘土 ・発泡セメント  ・へら ・彫刻刀  ・着色材料	美 5-1  美 5-3  美 4-11 美 5-13	

題 材	風景をかこう	月(時数)	5月(4時間)
目 標	○ 身近な風景を見て春の自然や建造物のもつ感じを感じ取り、物の位置や形などを工夫したり、絵の具の使い方を考えたりして伸び伸びと表現できるようにする。		
主 な 学 習 活 動 ・ 内 容	留 意 点	準 備	関連内容
1 校外に出掛け、春の風景やかきたいものについて話し合う。 ・ 野山の色合いや建造物の特徴 2 風景をかく。 (1) かきたいものの形をとらえる。 (2) 周りの様子をかく。 (3) 着色をする。 3 作品を展示し、鑑賞し合う。	・ 春の様子のとらえやすい場所や生徒の関心のある対象物がある場所へ出掛け、対象物の様子や季節の変化に気付かせる。 ・ 主題を明確にとらえさせ、対象物を大きく表現させる。 ・ 絵の具や筆などの用具の扱いや混色の仕方についての指導も行い、表現の仕方を工夫させる。 ・ 作品を校内に展示し、お互いに表現で工夫したところなどに気付かせる。	・ 画用紙 ・ 画板 ・ 描画材料	美 4-14       美 5-1, 4       美 4-13

題 材	使うものをつくろう	月 (時数)	6～7月 (8時間)
目 標	○ 自分たちの使うものの用途や美しさを考えて、形や色などを工夫したり材料を生かしたりしてつくりあげる喜びを味わわせる。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 身近な使うものについて話し合う。 ・ 用途 ・ 材料 ・ 形 2 材料を基につくりたいものを決める。 ・ 伝言板、ペン立てなど 3 つくるものの簡単なスケッチをする。 4 製作する。 (1) 材料を加工する。 (2) 装飾する。 5 作品を飾ったり、使ったりして鑑賞する。	・ 身近な日用品などを提示し、身の周りの物が使いやすく、楽しく使えるように色や形が工夫されていることに気付かせる。 ・ いろいろな形の材料や用具を準備し、自分のつくりたいものに合わせて選択できるようにする。 ・ 用途に合わせて使いやすい形や配色を考えさせながら、それに応じた材料や用具の使い方を工夫させる。 ・ 出来上がった作品を実際に活用させ、つくり上げた喜びを感じさせる。	・ 参考作品 ・ 材料 ・ 画用紙 ・ 接着材料 ・ 色紙 ・ 着色材料	美 5-13 美 5-5 美 5-12 美 5-6, 8 美 5-10, 11

題 材	ポスターをつくろう	月 (時数)	9月 (4時間)
目 標	○ 伝えたい内容を考えて、形や色などの組み合わせや図柄を工夫してポスターをつくることのできるようにするとともに、作品を掲示し、社会で役立つ喜びを味わわせる。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 いろいろなポスターについて話し合う。 ・ 伝えている内容 ・ 図柄や文字 2 つくりたいポスターについて考える。 (1) 伝えたい内容を考える。 (2) 掲示する場所を考える。 3 ポスターをつくる。 (1) 図柄や文字の配置や配色を考える。 (2) 下絵をかく。 (3) 文字を入れる。 4 作品を掲示する。	・ 様々なポスターを参考として提示し、ポスターの役割や必要な内容について考えさせる。 ・ 運動会や委員会活動などの身近な生活の中から伝えたい事柄を決めさせる。 ・ OHPなどを使って簡単な図柄や配置を考えさせ、アイデアがまとめられやすいようにする。 ・ 生徒の表現方法に応じられるように様々なデザイン技法の用具などを準備する。 ・ 生徒たち自ら校外に掲示させる。	・ ポスター ・ OHP ・ 画用紙 ・ 着色材料 ・ 綱・ローラー 等 ・ ペン類 ・ 色紙	美 4-7 美 5-5, 4

題 材	運動をする人をつくろう	月 (時数)	9 月 (4 時間)
目 標	○ 運動会での競技や身近なスポーツの様子を思い出し、体の動きやバランスをとらえて立体に表現する楽しさを味わわせる。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 運動会の競技や興味のあるスポーツの様子を思い出す。 ・ 運動している様子 ・ 楽しかったことなど 2 つくりたいものを決める。 3 運動をしている人をつくる。 (1) 心材で大まかな動きをつくる。 (2) 粘土で肉付けをする。  (3) 着色をする。 4 作品を鑑賞し合う。	・ 写真やVTRなどを使って運動会や身近なスポーツの様子を思い出させたり、実際に活動させたりしてイメージを持たせる。  ・ 友達同士で交互にモデルとなったり、教師が動きを強調して再現して見せたりして、体の動きやバランスをとらえさせる。  ・ 細部にこだわらず、大まかに表現させる。 ・ 自分や友達の作品でよく表現できたところや工夫したところなどを発表させ、お互いに作品に関心を持たせる。	・ 写真 ・ VTR  ・ 心材 ・ 針金 ・ 粘土  ・ 着色材料	美 5-1, 5    美 4-13

題 材	動くおもちゃをつくろう	月 (時数)	10 月 (6 時間)
目 標	○ 動きを生かしたり、材料や用具を工夫して活用したりしながら、計画を立てて楽しくおもちゃをつくったり遊んだりすることができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 いろいろなおもちゃの動きや仕組みを調べる。 2 動きの仕組みや材料について話し合う。 3 つくりたいおもちゃを決める。 (1) 仕組みを基に試作する。 (2) 材料や用具を考える。 4 おもちゃをつくる。 5 つくったおもちゃで遊ぶ。	・ 民芸品や簡単なおもちゃなどで遊んだり操作させたりして、動きのおもしろさや仕組みに気付かせる。 ・ 動きの仕組みとなる部分はあらかじめ準備し、様々な角度からとらえさせながらいろいろなものに見立てさせる。  ・ 様々な素材の材料を準備し、つくりたいものの感じが出るように材料を工夫させる。 ・ 材料の加工に応じた用具や扱い方を理解させる。 ・ 動きのおもしろさや工夫した点を生徒相互に評価させ、楽しさや、満足感を味わわせる。	・ おもちゃ  ・ 材料  ・ 接着剤 ・ 切断用具  ・ 着色材料	美 5-13  美 5-8, 5  美 5-4, 10



題 材	仕事をする人のかこう	月（時数）	11～12月（8時間）
目 標	○ 仕事場の働く人の様子をものの位置や形を工夫して表現するとともに、木版などの版画の特徴を考えて版画にすることができるようにする。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 身近な職場や現場実習での様子について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕事場の様子</li> <li>・ 仕事をする時の気持ち</li> </ul> 2 下絵をかく。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) かきたいものを決める。</li> <li>(2) 大まかな構図を決める。</li> <li>(3) 下絵をかく。</li> </ul> 3 製版する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 版木に写し取る。</li> <li>(2) 彫る。</li> </ul> 4 刷る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写真やVTRなどを使って家庭の仕事や実習での仕事の様子を思い出させ、頑張ったことや楽しかったことなどのイメージを持たせる。</li> <li>・ 職場での様子などを思い出させ表現したい内容を明確にさせる。</li> <li>・ 生徒の表現の実態や経験を考慮して、木版やリリウム版、ゴム版などを準備したり、陽・陰刻、多色刷りなどさせたりする。</li> <li>・ 彫刻刀などの用具の安全な取り扱いについて十分な指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写真</li> <li>・ VTR</li> <li>・ 画用紙</li> <li>・ ペン</li> <li>・ 版材</li> <li>・ 彫刻刀</li> <li>・ インク</li> <li>・ 画用紙</li> <li>・ バレン</li> </ul>	美 5-1  美 5-2  美 5-10  美 4-13

題 材	飛ばして遊ぼう	月（時数）	1月（6時間）
目 標	○ 簡単な設計図や説明書を見て用具や材料を選んだり、つくりたいものの美しさを考えて装飾したりして、たこや飛行機などを計画的につくることができるようにするとともに、つくったもので遊んだり飾ったりする楽しさを味わわせる。		
主な学習活動・内容	留 意 点	準 備	関連内容
1 飛行機やたこについて話し合う。           2 つくるものを決める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 材料や用具を考える。</li> <li>(2) 部品の種類や大きさを調べる。</li> </ul> 3 製作する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 材料を加工する。</li> <li>(2) 部品を取り付ける。</li> <li>(3) 装飾をする。</li> </ul> 4 飛ばして遊んだり、飾ったりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グライダーやゴム動力の模型飛行機、たこなどを提示したり、遊んだりして製作への興味・関心を高める。</li> <li>・ 実態を考慮して製作するものを選ばせるとともに簡単な説明書を準備し、それを基に材料や用具、部品を調べさせる。</li> <li>・ 製作手順を参考作品で提示したり、加工の仕方を示範したりしながら、製作への見通しを持たせやすくする。</li> <li>・ 作品を飛ばして遊んだり、お互いに見せ合ったりしながらつくりあげた喜びを味わわせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参考作品</li> <li>・ ひご</li> <li>・ 紙</li> <li>・ 説明書</li> <li>・ 接着剤</li> <li>・ 着色材料</li> </ul>	美 5-5  美 5-12, 10  美 5-11

